

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記)第十七回

(1770)

付託議案

林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月十一日(水曜日)午前
十時十七分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君

理事 佐民君 理事 平野 增吉君

理事 氏原 一郎君

理事 直道君

理事 小笹 耕作君

理事 太田秋之助君

理事 仲川房次郎君

理事 武君 武藤 常介君

理事 玉井 潤次君 松澤 一君

理事 坪井 龜藏君 井出一太郎君

理事 磯田 正則君 佐藤 實雄君

理事 團司 安正君

九月十日委員町田三郎君辭任ニ付其ノ
補闕トシテ玉井潤次君ヲ議長ニ於テ選
定シテ

出席政府委員

農林參事官 鈴木 強平君

農林技官 中尾 勇君

農林事務官 平川 守君

本日ノ會議ニ付シテ議案

林業會法案(政府提出)

○森委員長 引續イテ會議ヲ開キマ

ス——仲川房次郎君

○仲川委員 本案、即チ林業會法ヲ審

議スルニ當リマシテ、私ハ深く思ヒテ

致シマスコトハ、今日マデノ木材統制

法、之ニ依ツテ生レタ所ノ日本木材株

式會社、地方木材株式會社、此ノ所謂運

用、是ガ社會ノ各方面ト關係ハドウ

デアルカ、茲ニ重キヲ置イテ研究スベ

キダト思フノデアリマス、御承知ノ通

リ、木統法ハ實ニ天下ノ惡法トサレテ

怨嗟ノ的トナツテ居リマス、殊ニ日本

地木ノ運用、於キマシテハ、言語ニ盡

セヌ所ノ獨善專横ノ限リヲ盡シテ居

ル、彼等ノ運用ニ當ツテハ國家ナク、

社會公共ノ利益ヲ無視シ、殊ニ是ガ爲

ニ蒙ツタ所ノ需要者及ビ消費者ノ塗炭

ノ苦シミヲ思フニ當リマシテ、實ニ涙

グマシイ實情ガアルノデアリマス、今

度生レマス所謂林業會法案ハ、是等ノ

凡ニル缺陷ヲ排除反省シテ、再ビ斯様

ニ失敗ナカラシムル林業會法デナケ

レバナラヌト深ク私ハ痛感スルモノ

デアリマス、申上グルマデモゴザイマ

スガ、我が國ハ戰爭ニ負ケマシタ、

ソレヲ契シテ今日ノ再建途上ニ於テ、

色々ト國家ノ運命ヲ左右スル所ノ重大

問題ガ山積シテ居リマス、而モ此ノ狹

イ領土ノ六割以上ノ面積ヲ占ムル、此

ノ所謂山林行政ヲ運用スル所ノ法案

ハ、洵ニ重大ナ法案デアリマシテ、是

ガ運籌如何ハ、我が國再建ノ運命ヲ支

配スル鍵デアルト云フヤウナ感シテ深

ク致シタノデアリマス、茲ニ於テ私

ハ、政府ガ此ノ林業會法案ヲ提案ナサ

ルニ當ツテ、過去ノ失敗ヲ能ク諷味

シ、再ビ斯カル失敗ノナキヤウ、戰爭

中濫伐ニ次グニ濫伐、之ヲ一日モ早ク

治水、灌漑工事ト造林育成、更ニ又林

產物ヲシテ國家社會ノ爲ニ役立テルヤ

ウ、木材ノ目的ヲ達成スルヤウナ合理

的生産ノ方面ニ、深キ留意ノ下ニ此ノ

法案ヲ提案サレタカドウカ、又今後モ

左様ナ目的ヲ以テ此ノ林業法案ヲ運籌

ニ當ラレルカ、先ヅ此ノ問題ニ付テ、

當局ノ所見ヲ承リタイノデアリマス

○平川政府委員 本案ノ制定ニ當リマ

シテ、御趣旨ノ如ク、從來ノ地木、日

本ノ所謂官係のト申シマスカ、統制ノ

弊ヲ認メマシテ、之ヲ全ク自主的ナ統

制ニ練リ替ヘヨウト云フ點ニ一ツノ狙

ヒガアルコトハ、御説明ノ通りデアリ

マシテ、今後ノ運用ニ當リマシテモ、

御説ノ通りニ運用サレルモノト思ヒマ

ス

○仲川委員 今御當局ノ誠意アル答辯

ヲ拜聴致シマシテ安心致シマシタ、ソ

レデ、此ノ林業會法案ノ内容ニ付テ、

逐次御伺ヒシテ行キタイト思ヒマス、

此ノ林業會法案ノ性格ニ付テデアリマ

スガ、從來ノ地木、日本ノ如ク、製材

業カラ伐採、所謂薪材、送込、配給、

總テ事業的ニ之ヲ行ハウト云フ所ニ重

點ヲ置イテ居ルカ、或ハ又指導機關ト

シテ、一般ノ業者ヲシテ其ノ特徵ヲ生

カシ、之ヲ國家目的ノ爲ニ指導スルコ

トニ主眼ヲ置イテ居ルカ、要スルニ事

業的機關デアアルカ、指導的機關デア

ルカ、此ノ點ヲ先ヅ御伺ヒシタイト思

ヒマス

○平川政府委員 林業會法ハ主トシテ

指導ノ目的ニアルト思ヒマス、此ノ指

導ノ必要カラ致シマシテ、若干ノ經濟

行爲ヲ致ス場合モ考ヘラレナイ譯デハ

アリマセヌガ、出資ヲ致スコトモ認メ

テハ居リマスガ、原則トシテハ指導ヲ

目的トシテ居ルト云フ風ニ御諒願ヒ

マス

○仲川委員 指導機關ト見テオイデニ

ナルト云フコトヲ承リマシタ、ソレデ

ハ此ノ機構ヲドウシテ作ルカ、色々承

ツテ居リマスケレドモ、例ヘバ森林組

合、或ハ林產組合トハ如何ナルモノヲ

指シテ言フノカ、其ノ機構ノ内容ニ付

テハツクリシテ戴キタイノデアリマス

○平川政府委員 森林組合ト林產組合

トヲ以テ林業會ヲ構成スルノデアリマ

シテ、森林組合ニ付キマシテハ、勿論

森林法ノ規定スル從來ノ森林組合デア

リマス、林產組合ノ方ハ一般林產物ノ

指定ニ依ツテ範圍ガ變ツテ參リマス、

木材ニ付テ申シマスレバ、木材業、製

材業、或ハ特殊ノ木材、例ヘバ坑木

「バル」材デアリマス、合板ト云

フヤウナ特殊ナモノモアル譯デアリマ

ス、ソレ等ノ業種別ニ林產組合ヲ作ル

場合ニアリマシテハ、其ノ中ノ、例ヘ

バ木材業ト製材業ト一緒ニシテ一ツノ

林產組合ヲ作ルト云フコトモ差支ヘナ

イノデアリマス、是等ガ林產組合ヲ形

成スルノデアリマシテ、此ノ林產組合

ト森林組合トガ中心トナツテ、縣ノ林

業會ヲ作ルト云フノデアリマスガ、唯

其ノ外ニ林業ニ密接ナ關係ヲ有スルモ

ト云フノデ、木材ノ需要者若クハ需

要者ノ團體、例ヘバ土建或ハ木工ト云

フヤウナ業種ノモノハ、之ニ密接ナ關

係アルモノト致シマシテ、ヤハリ林業

會ノ會員ニナル、唯此ノ場合ニハ一般

ノ木材業ト稍々異リマシテ、例ヘバ

員ヲ選出致シマス場合ニ於テモ、密接

ナ關係アルモノハ特別議員ヲ出スト云

フヤウナ組織ニナツテ居リマス

○仲川委員 其ノ問題ハ後廻シニ致シ

マシテ、次ニ御伺ヒ致シタイノハ、都

道府縣ニ林業委員會ヲ御置キニナルト

云フコトヲ此ノ前ニ此ノ委員室デ承リ

マシタガ、其ノ通りニ承知シテ差支ヘ

ナイカ、委員會ヲ置クトスレバ、此ノ

林業會法ノ何レニ其ノ根據ヲ置イテ居

ルカ承リタイノデアリマス

○平川政府委員 都道府縣ノ林業會ニ

付キマシテハ、日本林業會ニ於ケルガ

如ク此ノ法文ノ明記ガゴザイマセヌノ

デ、林業委員會ヲ置クカドウカト云フ

コトハ自由デアリマス、併シナガラ置

クト致シマスレバ、置クコトハ少シモ

差支ヘナイノデアリマシテ、例ヘバ定

款等ヲ以テ、都道府縣林業會ガ委員會

ヲ置クコトモ一向差支ヘナイノデアリ

マス、併シナガラ、此ノ點ニ付キマシ

テ法律ノ明文ガ欲シイト云フ御希望モ

ゴザイマスノデ、此ノ林業會法案第百

二條ノ根據ニ基キマシテ、勅令ヲ以テ

規定スルコトニ致シタラ如何カト考ヘ

テ居リマス

○仲川委員 ソレデハ百二條ノ條文ニ

依ツテ、當局ハ勅令ヲ以テ法文化スル

ト云フヤウニ承ツテ宜シイノデスカ

マス

○平川政府委員 ソレデ宜シウゴザイ

マス

○仲川委員 ソレデハ林業會ハ主トシ

テ指導的機關デアル、斯様ニ承リマス

ト、此ノ林業會ノ經理ハドウ云フ方法

ヲ以テ運用シテ居ルカ、承リタイト思

ヒマス

○平川政府委員 要スルニ林業會ノ經

費ハ、毎年事業計畫ヲ定メマスト同時

ニ、其ノ賦課徵收方法ヲ定メルノデア

リマシテ、總會ノ決議ニ依リマシテ毎
年會員ニ對シテ經費ヲ賦課スル、指導
ノ爲ニ必要ナ經費ノ豫算ガ成立致シマ
スカラ、其ノ豫算ニ基キテ各會ニ對ス
ル經費ノ賦課報告ヲシナケレバナラヌ
ト云フヤウナ、原則的ナ經費ノ賦課方
法デアリマス、此ノ指導理念ニ伴ヒマ
シテ、例ヘバ若干ノ必要ナ資材ヲ配給
スルトカ云フヤウナ關係上、出資林業
會ト云フモノヲ認メテ居リマス、サウ
云フ場合ニハ會ニ對シテ一定ノ出資ヲ
シテ貰フト云フ方法モアル譯デアリマ
ス

○仲川委員 私ノ伺ハントスル所ハ、
所謂林業會員個人々々ニ、其ノ人ノ業
績、擔稅能力ニ依ツテ徵收スルノ
カ、ソレトモ森林組合ト云フモノヲ一
本ニ立テテ徵收シ、一方ハ品種別ノ林
業組合、サウ云フ組合ヲ單位トシテ徵
收シテ行クノカ、之ヲ承リタイ

○平川政府委員 林業會ノ構成員ハ、
府縣ノ地區トスル森林組合聯合會及ビ
府縣ノ地區トスル林業組合ト云フモノガ
原則的ナ構成分子デアリマス、此ノ團體
ニ對シテ林業會トシテハ經費ヲ課セ
テ、其ノ團體ガソレノ會員カラ徵
收スルト云フ形ニナツテ居リマス

○仲川委員 ソレデハ次ニ御伺ヒ致シ
タイコトハ、臨時物資需給調整法案
ト、此ノ產業團體ノ關係デアリマス、
臨時物資需給調整法案ノ第二條ニ規定
サレル所ノ產業團體トハ、本案ニ關係
スル限リドノ團體ヲ主トスルノデア
ルカ、之ヲ一ツ承リタイ

○平川政府委員 是ハ指定ニ依リマシ
テ、本案ノ林業會ヲ指定スルコトモ出
來マシ、或ハ林業組合ヲ指定スルコ
トモ出來マス、森林組合ヲ指定スルコ
トモ組合ニ依ツテハ出來マス、森林組

合ガ一定ノ木材生産業ヲ營ンデ居リマ
ス場合ハ、其ノ限リニ於テ指定スルコ
トモ出來ルノデアリマス、詰リドノ團
體モ此ノ指定ノ對象ニハナリ得ルト云
フコトデアリマス

○仲川委員 其ノ點ハ受ケタ團體ガ物
資ノ割當トカ配給ト云フコトヲシテ居
ルノデアリマス、ソレハドウ云フヤ
ウナ制度ニ依ツテヤツテ行クカ、例ヘ
バ森林組合ナラ森林組合トシテ、ソレ
ニ統轄シテ割當スルノカ、或ハ林業組
合ナラ林業組合トシテ割當ヲシテ行ク
ノカ、サウシテ其ノ内容ガ組合ニシテ
ヤルノカ、ソレモ個々ノ個人ニシテ
行クノカ、之ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○平川政府委員 林業會ニ大キナ割當
ガ得クコトト思ヒマス、林業會カラ
更ニ森林組合及ビ林業組合ニ對シテ
ソレノ割當ヲスル、森林組合ガ更ニ單
位組合、又更ニ個人ノ業者ニ割當ヲス
ル、森林組合ノ方ハ、林產物ノ生産加
工ト云フヤウナ事業ヲ行ツテ居リマス
限リニ於ケマシテ、其ノ部分ニ付テ割
當ヲ致スルコト云フコトニナツテ居リマス

○仲川委員 ソレデハ次ニ立木ニ付テ
御尋ネ致シマス、最近戰爭中森林ガ非
常ニ強制伐採ヲサレマシタ、其ノ後ノ森
林家ハ所謂非常ナ森林愛ト申シマス、
或ハ家ノ寶ト申シマス、最近ハ山ヲ賣
リマセ、ソコデ今後立木ノ確保ニ付
テ、製材ヲ營ム者、或ハ其ノ他資材ヲ
營ム者、或ハ林業會ノ者ノ生産擴充ノ
面ニ於テ、立木ノ確保ハドウスルカ、
ウシテモイケナケレバ、今度ノ臨時物
資調整法案ヲ發動シタルカト云フコ
トガ一ツ、ソレカラ其ノ次ニ、製品ノ
價格ニ對シテハ今日公定價格モアリマ
スガ、立木ノ價格ニ對シテハ、ドウ云
フ方法ニ依ツテ生産費ヲ出ス積リデア

ルカ、又其ノ代金ノ支拂方法、是ハ今
日木材ニ對シテ約二割ノ保障ヲシテ居
リマス、併シ木炭トカ或ハ薪トカ云フ
方面ノ山林ノ賣買ニハ全部自由支拂ヲ
シテ居ル、同ジ立木ヲ買上グルノニ其
ノヤウニナツテ居リマスガ、今後立木
ノ必要ナル時ニ、此ノ支拂方法、價格
ヲドウ云フ風ニシテ決メテ行クカ、ソ
レカラ其ノ次ニ御伺ヒタイノハ、今
度ノ財產稅ニ依ツテ立木ガ財產稅ニ該
當スルトナルト、是ハドウシテモ納稅
出來ナイ時ニハ、相當私ハ物納ニナル
ト思フ、此ノ物納ノ出タ時ニ、政府ハ
如何ナル方法ニ依ツテ之ヲ處分シテ行
クカ、此ノ三ツヲ承リタイ

○平川政府委員 立木ノ供出ノ困難ノ
コトハ御承知ノ通りデアリマシテ、今
同ノ林業會法案ニ於ケマシテモ、自治
的ナ統制ニ依リマシテ、森林組合ヲシ
テ立木供出ニ出來ルガ協力セシメタ
イト云フ考ヘガ含マレテ居ル譯デアリ
マス、併シ萬一、ドウシテモ所望量ヲ
充タシ得ナイ場合ニハドウスルカト云
フ御話デアリマスガ、其ノ場合ニ於ケ
マシテハ需給調整法案ヲ發動シタル場
合モアルドラウト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ價格ノ問題ニ付キマシテハ、現在
ハ木材ニ對スル公定價格カラノ逆算價
格ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリ
マス、此ノ木材ノ價格ヲ決定スルニ當
リマシテ、立木ノ價格ト云フモノモ其
ノ構成因子ノ中ニ考慮致シマシテ、立
木ガ相當ノ價格ニ買ヒ得ルヤウナ價格
ヲ木材ニ付テ決定ヲ致シマシテ、ソ
レカラノ逆算價額實際賣サレルト云フコ
トニナツテ居リマス、立木ニ付キマシ
テ、直接ニ公定價格ヲ設定スルト云フ
コトハ非常ニ困難デアリマスカラ、サ
ウ云フ形ニ相成ツテ居ルノデアリマス

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

○仲川委員 ドウシテモ立木ノ確保ガ
巧ク行カナイ時ニハ、臨時物資需給調整
法案ヲ發動シタルコト云フコトデアリマス
ガ、元來元ノ地木或ハ日本ト云フモノ
ハ獨占事業デアッタト云フコトデ、是カ
ラ民意ヲ尊重シテ、無暗ニ自己ニ與ヘ
ラレタ所ノ特權ノ如ク、總テノ運用ヲ
ナシテ行クト云フコトハ、抑々贅々タ
ル非難的デアリマス、今度出來ル民
主的林業會法案ガ運用サレテ行クト云
フコトニナルト、此ノ臨時物資需給調整
法案ノ活用ハ、其ノ運用宜シキヲ得ナ
レバナラヌト私ハ思フノデアリマス、
森林家ハ何十年間掛ツテ之ヲ作上ゲテ
居ル、我が子ノヤウニ愛シテ居ル、ソ
レガ戰時中無暗ニ伐採サレテシマツタ
ノデ、戰後ニ於テハ是非祖先ノ礎カ
レタ基礎ヲ守ツテ、ソシテ森林愛ニ燃エ
テヤラウトシテ居ル、是ガ又此ノ臨時

物資調整法ニ依ツテヤラレルト云フコト
ニナリマスコトハ、森林業者ヲ保持ニ
於テ、私ハ洵ニ思ヒ半バニ過ギルモノ
ガアルト思フノデアリマス、故ニ私ハ
此ノ林業會法ノ活用ニ對シテ、民主的
運籌方法ト矛盾シナイ方法デ、無缺ナ
ル指導ヲヤツテ戴キタイト云フコトヲ
深ク痛感スルノデアリマス

○仲川委員 立木價格デアリマスガ、此
ノ價格ニ付テハ、逆算ナナルト云フ
コトデアリマスガ、今日ノ伐採運搬
云フモノハ決シテ常道デハナイ、左様
ナコトカラ考ヘマシテ、是ガ逆算致シ
マシタナラバ、山奥ノ出材ニ骨折ツテ
モ、山奥ノ木材ハ無價値ニナル、何十
年、何百年森林愛ニ依ツテ辛酸ヲ嘗
メ、汗ヲ流シテ作ツタ所ノ山ハ無價
値ニナル、斯様ナ制度デハ將來ノ日本
ノ森林生産ハ駄目ニナル、ソコデニ
對シテハ、今日マシ盡シタ努力ニ報ヒ、
經濟方面ノ保障ノ方法ガ出來ナイカ
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス

○仲川委員 立木價格デアリマスガ、此
ノ價格ニ付テハ、逆算ナナルト云フ
コトデアリマスガ、今日ノ伐採運搬
云フモノハ決シテ常道デハナイ、左様
ナコトカラ考ヘマシテ、是ガ逆算致シ
マシタナラバ、山奥ノ出材ニ骨折ツテ
モ、山奥ノ木材ハ無價値ニナル、何十
年、何百年森林愛ニ依ツテ辛酸ヲ嘗
メ、汗ヲ流シテ作ツタ所ノ山ハ無價
値ニナル、斯様ナ制度デハ將來ノ日本
ノ森林生産ハ駄目ニナル、ソコデニ
對シテハ、今日マシ盡シタ努力ニ報ヒ、
經濟方面ノ保障ノ方法ガ出來ナイカ
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス

○仲川委員 立木價格デアリマスガ、此
ノ價格ニ付テハ、逆算ナナルト云フ
コトデアリマスガ、今日ノ伐採運搬
云フモノハ決シテ常道デハナイ、左様
ナコトカラ考ヘマシテ、是ガ逆算致シ
マシタナラバ、山奥ノ出材ニ骨折ツテ
モ、山奥ノ木材ハ無價値ニナル、何十
年、何百年森林愛ニ依ツテ辛酸ヲ嘗
メ、汗ヲ流シテ作ツタ所ノ山ハ無價
値ニナル、斯様ナ制度デハ將來ノ日本
ノ森林生産ハ駄目ニナル、ソコデニ
對シテハ、今日マシ盡シタ努力ニ報ヒ、
經濟方面ノ保障ノ方法ガ出來ナイカ
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス

○仲川委員 立木價格デアリマスガ、此
ノ價格ニ付テハ、逆算ナナルト云フ
コトデアリマスガ、今日ノ伐採運搬
云フモノハ決シテ常道デハナイ、左様
ナコトカラ考ヘマシテ、是ガ逆算致シ
マシタナラバ、山奥ノ出材ニ骨折ツテ
モ、山奥ノ木材ハ無價値ニナル、何十
年、何百年森林愛ニ依ツテ辛酸ヲ嘗
メ、汗ヲ流シテ作ツタ所ノ山ハ無價
値ニナル、斯様ナ制度デハ將來ノ日本
ノ森林生産ハ駄目ニナル、ソコデニ
對シテハ、今日マシ盡シタ努力ニ報ヒ、
經濟方面ノ保障ノ方法ガ出來ナイカ
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス

○仲川委員 立木價格デアリマスガ、此
ノ價格ニ付テハ、逆算ナナルト云フ
コトデアリマスガ、今日ノ伐採運搬
云フモノハ決シテ常道デハナイ、左様
ナコトカラ考ヘマシテ、是ガ逆算致シ
マシタナラバ、山奥ノ出材ニ骨折ツテ
モ、山奥ノ木材ハ無價値ニナル、何十
年、何百年森林愛ニ依ツテ辛酸ヲ嘗
メ、汗ヲ流シテ作ツタ所ノ山ハ無價
値ニナル、斯様ナ制度デハ將來ノ日本
ノ森林生産ハ駄目ニナル、ソコデニ
對シテハ、今日マシ盡シタ努力ニ報ヒ、
經濟方面ノ保障ノ方法ガ出來ナイカ
ト云フコトヲ深ク考ヘルノデアリマス

前ニ營林署ニ御勤メナシテ、現在動
メテ居ル營林署ノ方ノ先聲デアル、サ
ウ云フ人ガ其處ニ住マツテ居ツテ、色
色相變ノ結果獨占的ニ伐採スル、又伐
採費モ、地方ノ民間ノ伐採費ヨリ遙カ
ニ高イモノヲ拂ツテ居ル、ソレカラ運
搬費ニ對シテモ高イモノヲ拂ツテ居
ル、其ノ結果民營ノ事業家ガ非常ニ迷
惑シテ居リシテ、斯様ナ御伐組合
ハ、少クとも今日ノ民主化ノ國ヲ導
テノ輿論ニ反スルモノナリト思フ、
又斯様ナコトガ今日ノ「インフレ」ヲ煽
ツテ居ル、ト云フノハ自分ノ山デナ
イ、政府ノ山デアル、其ノ結果現在私
ノ縣ニ於テモ非常ニ弊害ヲ來シテ
居ル、此ノ間私ハ營林署長ニ會ツテ
斯ウ云フコトバ即時止メルヤウニ申
シマシタラ、簡單ニ參ラナイト當ツテ
居ラレタガ、是ハ實ニ非難難々タルモ
ノガアルノデアリマス、ソレハドウ云
フコトカト云フト、結局山ノ値ガ一般
ノ民有林ヨリ安イ、ダカラ少シ位餘計
伐採費ヲハズンデヤレ、又運搬費モ餘
計出シテヤレ、山ノ代金ニ少シ位食ヒ
込ンデモ何等損ガナイト云フノデ、勞
賃ノ昂上ゲシテ居ル、斯ウ云フコト
ハ先ニ於テモ宜クナイ問題ヲ惹起スル
ト考ヘマスカラ、此ノ御伐組合ハ、今
日ノ日本ニ於テハ即時止メサセナケレ
バナラヌト考ヘマスガ、此ノ點御意見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒシタイノハ木材ノ價格デ
アリマス、是ハ公定價格ニナサルノ
カ、ソレトモ協定價格ニナサルノ
私ノ之ニ付テ是非トモ御願ヒシタイノ
ハ、日本ハ御承知ノヤウニ、領土ガ戰
前カラ見テ約半近クニ減リマシタ
ガ、森林ハ其ノ六割以上ヲ占メテ居ル
ノデアリマス、此ノ點額大ノ土地カ
ラ、成タケ質ノ良イ、價值ノアル材ヲ
作ラナケレバナラス、サウシテ出來
シタ良質ノ材ハ、而モ其ノ價格ガ低廉
デナケレバナラス、是カラノ文化日本
ノ建設ニハ、先ヅ住ム家ヲ造ツテ行ク
コトガ必要デ、左様ナ方面ニ付テ指導
助長スルコトガ必要ダト思ヒマス、ソ
レデ是非トモ此ノ價格ニ付テハ、思切
ツタ方法ヲ一ツ考ヘテ貰ヒタイ、ソレ
カラ今度運輸省ガ運費ノ値上ヲシマシ
タ、其ノ結果トシテ、當然木材ノ運搬
費小運送ノ賃金ガ多ク掛カルノデア
リマス、所ガ更ニソレニ付テ山ノ人
夫賃ト云フモノモ高クナル、サウナル
ト山ノ價格ハ益々上ツテ來ルノミナ
ズ、是ガ支障致シマシタ山ノ買入ニ
大困難ヲ來スト思ヒマスノデ、斯様ナ
點ニ付テ如何様ニ御考ヘニサツテ居
ルカ、承リタイト思ヒマス

○中尾政府委員 木材ノ價格ヲ公定價
格ニスルカ、協定價格ニスルカト云フ
點ニ付キマシテハ、只今マデモ御答辯
致シタ點デアリマス、是ハ物價廳ノ方
デ決定サルベキモノデアリマスケレド
モ、決定サレル際ハ十分ニ林業會内ニ
出來サレ日本林業會ノ意圖モ參酌シテ
決定サレルコトト思ヒマス、又當局ト
致シマシテモ、木材ノ特異性ニ鑑ミマ
シテ、皆サンノ御意見ヲ十分傳ヘルヤ
ウニ協力シタイト思ヒマス
尙ホ規格ノ點デアリマスガ、此ノ規
格ノ點ニ付キマシテモ、只今ハ非常ニ
簡單ニナツテ居ルノデアリマスガ、御
説ノヤウナ點ヲ取入レルカドウカニ付
テハ、只今研究ヲ致シテ居リマス
ソレカラモウ一ツ、鐵道運費ノ値上
ノアツタチノ場合、運賃ハ價格形成上
重大ナルモノデアリマシテ、是ガ變更
ニナリマシタ場合ニハ、當然價格ノ變
更ヲ致サナケレバナリマセヌノデ、サ
ウ云フ場合ハ、出來ルダケ早く價格ノ
方モ變更シテ行キタイ考ヘデアリマス
○仲川委員 木材ノ規格ニ付テハ色々
考ヘテ居ルコト云フコトデアリマスガ、
文化日本建設ノ爲メ無地、上小節、長
物等、良品ニシテ價值アルモノヲ造ル
コトニ、是非トモ御考慮ヲ煩ハシタイ
ト思ヒマス、ソレカラ鐵道運費ノ値上
ニ付テハ、單ニ汽車ヤ電車ダケデナ
ラ、其ノ先ノ小運搬ニ付テモ爲ト御考
慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

其ノ次ニ、今日戰災ヲ受ケマシタ日
本ト致シマシテハ、一日モ早く之ヲ再
建シナケレバナラス、サウ云フヤウナ
コトヲ考ヘマス、ドウシテモ木材ノ
増産ノ必要ニ迫ラレデ居ルノデアリマ
スガ、此ノ増産ニハ是非トモ資材關係
ガ必要デアリマス、即チ造材ノ隘路ト
ナツテ居ル勞務者ノ加配、地下足袋、
又運搬ニ對スル「ガソリン」、殊ニ最近
製材業者トシテ困ツテ居ルノハ帶鋸ノ
不足デアリマス、又釘、針金、「ロープ」、
更ニ困ツテ居ルハ小運搬用ノ飼料、
之ニ對シテ政府ハ御用意ガアルカドウ
カ、同ツテ置キタイト思ヒマス
○中尾政府委員 生産資材ノ獲得、又
配給ニ付キマシテハ、政府ト致シマシ
テハ出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ルノ
デアリマシテ、常ニ關係各省ト交渉ヲ
續ケマシテ、出來ルダケ潤澤ニ配給ス

ルヤウナ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマ
ス、只今御尋ネニナリマシタ鋸類ノ如
キハ、丸鋸ノ方ハ只今ノ現狀デハ稍
窮乏デアリマスケレドモ、先行キハ増
加ノ見込デアリマス、帶鋸ノ方モ亦同
様ニアルノデアリマス、又地下足袋ノ
方ハ、是ハ護謨等ノ資材ノ關係モアリ
マシテ段々窮乏ニナツテ居リマスガ、
是モ出來ルダケ多ク配給致シタイト思
フ努力ヲ致シテ居リマス、食糧ノ點モ
只今マデ何回モ審議致シタ次第デアリ
マスガ、食糧管理局ノ方ト十分連絡ヲ
取リマシテ、出來ルダケ現在ノ加配ハ
續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙
ホ釘ヤ針金、「ロープ」、是等ノ點ハ最近
ニ於キマシテハ割合ニ入手ガ難ニナツ
テ參ツテ居リマスノデ、是ハ大體今後
ハ相當量配給出來ルノデハナイカト云
フ風ニ考ヘテ居リマス、又馬糧ノ點ニ
付キマシテハ、是ハ小運搬上ドウシテ
モ必要ナモノデ、出來ルダケ多ク配給
致シタイト存ジマシテ、只今畜産局方
面ト連絡ヲ致シテ居リマス、是モ段々
ト良クナツテ來ルノデハナイカト考ヘ
テ居リマス
○仲川委員 色々承リマシタガ、今日
ノ狀態デハ山ニ參リマシテ伐倒スル
者、ソレカラ運搬スル所ノ運搬夫等ニ
ハ聊カ特配ガアルノデアリマス、所ガ
肝腎ノソレヲ持ツテ來テ製材ヲ致シマ
ス所ノ製材ノ腹押、或ハ向取、ソレカ
ラ之ヲ運搬スル運材夫ニハ、特配ガ七
月一日カラナイノデアリマス、其ノ爲
ニ非常ニ困ツテ居ル、御承知ノ通り腹
押ト云フノハ、例ヘバ五十尺ノ尺角デ
モ、之ヲ一人シテ一分一厘運ハヌヤウ
ニ、技術的ニ、又力的ニ非常ナ努力ヲ
以テ挽クナケレバナラナイ、洵ニ技術
ト云ヒ、其ノ努力ト云ヒ重労働デアリ

ト好マザルトニ拘ラズ、伐採ニ次グ伐採アリマシテ、非常ニ濫伐ヲ致シテ居リマス、承ルト、政府ハ今後二百七十二萬町歩ノ植林、本年度四十七萬町歩ヲ増殖シテ行カウト云フ考ヘノヤウデアリマスガ、私ハ是ハ治水、旱害或ハ洪水ノ對策上、一日モ等閑ニ付スベキモノデナシ、斯様ニ考ヘマス、今マデトハ濫伐マシテ、非常ニ總テガ暴騰致シテ居リマス此ノ暴騰シテ居リマス所ノ經費ヲ山林家ニ多ク持タストスルナラバ、是ハドウシテモ不可能ニ終ルト思ヒマス、ソコデ私ノ御尋ネシタイ問題ハ、戰爭中ニ強制伐採ヲ受ケタ山林家ガ、之ヲ直ニ植エント致シマシタ時ニ、地方ノ事情ニモ依リマセウガ、私ノ地方デハ、後ニ軍用材ガ必要デアルカラ、其ノ人夫ヲ使ハズニ、詰リ植エルト止メト云フノデ、此ノ結果植エルト勞務ノ需給調整上ヤラナカツタ、其ノ結果今日非常ニ暴騰ニナリマシテ、其ノ行爲ハ國家ノ日の爲ニ追隨シテ放ツテ置イタト云フコトニナルノデアリマス、斯様ナコトカラ、ドウシテモ造林ヲ國ヲ擧ゲテ實現シタイト思フ、之ニ政府ハ責任ヲ持ツテ、大幅ノ所謂助成ノ經費ヲ出サナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ用意ガアルカド云フコトヲ、承ツテ見タイト思ヒマス

○中尾政府委員 造林助成ノ點ニ付キマシテハ、今ノ勞務賃金其ノ他ノ考慮致シマシテ、現在ノ豫算ヲ實行出來マセヌ場合ハ、相當値上スルコトニ考ヘテ居リマシテ、準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○仲川委員 物價ノ暴騰ヲ考慮シテ居ルガ、今ノ豫算出來ナケレバ更ニ考慮スルト云フコトデアリマスケレド

モ、今日ノ森林資源ノ造成ハ實ニ等閑ニ付スベキデハナイ、急ヲ要スル、一日還レダケツルナラバ國家ノ資源ヲ失フ結果ニナルト云フ觀點カラシテ、本年度ハドウ位ノ豫算ヲ以テヤラレルノカ、又將來此ノ二百七十二萬町歩ノ造林ニ對シテ、國ハ如何ナル豫算ヲ以テ進メルモノデアアルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス

○中尾政府委員 本年度ノ造林ニ關シマス豫算ハ、先般モ一寸申上ゲタノデアリマスガ、總體デ八千七百萬圓ニナツテ居リマス、併シ是ハ經費ト致シマシテハ、相當足ラナイノデアリナカト云フ御疑念モアルコト思フノデアリマスガ、此ノ造林ノ内閣ヲ申上ゲマス、ト大體御諒解行クコト思ヒマス、本年度ノ四十七萬町歩ノ中三萬四千八百町歩ト云フハ、是ハ國有林ノ造林デアリマシテ、之ニ四千二百萬圓位ト云フモノヲ豫算シテ居リマス、尙ホ官行造林デ六千五百町歩、是デ約千五百萬圓ヲ豫算シテ居リマス、ソレカラ民有林ノ方ノ造林ハ、造林證券ニ依リ分ガ二十七萬九千町歩、是ガ造林證券ノ補助ノ分デアリマス、之ニ要シマス本年度ノ助成金ハ、是ハ來年度ノ經費ヲ支拂フコトニナルノデアリマス、此ノ分デ本年度ノ豫算ニ計上サレテ居リマスノハ千三百萬圓程度アルノデアリマ

アリマスガ、是ガ十四萬六千町歩、其ノ中人工植栽ニ依ル分ハ五萬六千町歩ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ方ノ經費ガ、只今ノ豫算ト致シマシテハ千六百萬圓計上致シテ居リマスガ、是ハ到底此ノ經費ヲ賄ツテ行ケナイヨトハ、當局ト致シマシテモ認メテ居リマスノデ、之ニ對シマシテハ只今増額ノ手配ヲ致シテ居リマス、以上ノヤウナ關係デアリマス

○仲川委員 今般申上ゲマシタガ、概シテ考ヘマシテモ、四十七萬町歩ハ今日ノ時勢カラ考ヘテ非常ニ少キニ失スルヤウナ氣ガ致シマス、ケレドモ私ハ今日ノ植林ハ、ドウシテモ一町歩デ、地割ヲシテ、苗ヲ買ウテ植エテ、ソレカラ其ノ後五箇年ノ間手入ヲスルト云フコトニ致シマス、先ヅ杉、檜デハ三千二百二十七圓ト云フ數字ヲ出シテ居リマス、詳シイコトヲ申シテ居ルト時間ヲ取リマスガ、地割ハソレデハ少イコト云フコトヲ考ヘテ居リマス、サウスルト三千二百二十七圓ト云フコトヲ考ヘマス、今仰シヤル數字デハ、連モノ、一割ニモ充タナイト云フコトヲ想ヒ到ルノデアリマス、更ニ私ガ思ヒマス問題ハ、今後ドウシテモ此ノ二百七十二萬町歩ノ造林ヲナサラウト致シマスナラバ、是ガ苗木、手入、其ノ他ト合セマシテ、約六十億圓程掛ル、是ハ大體私ノ考ヘデハ、植林ト天然更新ノ平均シテ一町歩二千五百圓、斯様ニ假定シテ居ルノデアリマ

ウシテモ治水、灌漑、保持ト云フコトヲ考ヘテ國民ノ安泰ヲ期スル、又國家百年ノ大計ヲ期スル上ニ、一日モ等閑ニ付スルコトナシニ、必ズ實行ヲ致サナケレバナラヌ、斯様ナコトヲ考ヘマスト、實際ニ合フ所ノ補助、實際ニ合フ所ノ證券ヲ發行スルコトガ必要デアリマスノデ、此ノ點深甚ナル考慮ト、是ノ實行ガ實際ニ即スルヤウナ御考ヘヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス

○仲川委員 今般申上ゲル問題ハ、元ノ木材統制法ノ缺陷、ソレカラ日本、地木ガ專横暴ヲ盡シタ、公益ヲ毒シタ、此ノ怨嗟ノ焦點ハ何處ニアツタカト云フコトヲ考ヘマス、色々問題ハアリマスケレドモ、要ハ獨占ヲサセタト云フコトガ其ノ重大原因デアツタコトハ當然デアリマスケレドモ、一般ノ需要者、消費著ガ一番苦杯ヲ嘗メサセラレタノハ、結局其ノ統制目的、生産目的ガ、最後ノ需要者或ハ消費者ニ向カザル所ノモノヲ捨ヘル、例ヘバ家ヲ建築スル、此ノ爲ニ消費者、需要者ガソレヲ求メテ居ルニモ拘ラズ、三寸角ガ欲シト云フニ拘ラズ四寸角ヲ渡ス、或ハ「バブル」ガ欲シノニハ八寸角ヲ渡ス、所ガ當時製材業ト云フモノハ、御承知ノ通り林材會社ガソレヲヤツテ居ツタ、製材ナキ需要者ニ斯カルモノヲ渡シテ、ソレヲ賣ツタ消費者ハ非常ニ困ツテ、凡ユル方法ヲ講ジテ、凡ユル不合理ノ下ニ之ヲ順シテ製材シテ賣フ、所ガ其ノ價格ハ、製材シタ價格ノ方ガウント手間ヲ掛ケテ安クナツテ、サウシテ元ノ原木ノ方ガ高イト云フヤウナ矛盾ガアツタノデアリマス、ソコデ私ハ今般ハ、先般局長カラ、民主化シテ斯様ナ缺陷ヲ補フコトヲ御説明ガアリマシタガ、此ノ林業會法ノ第一條

ニ「林業會は、會員が協同して、自主的に林業の改良發達並びに、林産物の生産の確保及び配給」ソコニ持ツテ來テ及び使用又は消費の適正を圖ル」トシテ戴キタイ、木材ノ生産育成ト云フモノハ、最後ニハ其ノ使用ノ使命ヲ果ス爲ニアル、不合理ナ、需給ノ理論ニ合ハナイモノヲ造ルト云フヤウナコトハ、國家的意義カラ考ヘテ決シテアツテハナラナイト思フ、我々ガ汽車ニ乗ルニシテ、電車ニ乗ルニシテ、目的ヲ以テ行動スルノデアル、林業會ノ生産モ、自ラ此ノ最後ノ目的ニ向ツテ進ムベキノデアルト云フコトカラ考ヘマシテ、コ、ニ私ハ「使用又は消費」ト云フコトヲ御入レニナツタ、之ニ向ツテ所謂「シムボル」ヲ御作リニナルコトガ必要デアハナイカ、之ヲ御伺ヒシテ見タイノデアリマス

○平川政府委員 木材其ノ他林産物ノ最後ノ使用又ハ消費ト云フコトガ、非常ニ大事ナ問題デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、林業會ト致シマシテハ、先ヅ森林ノ育成及ビ林産物ノ生産、更ニソレカラ進シテ配給ト云フ所マデヲ主トシテ擔當ヲ致ス團體デアリマス、併シナガラ御説ノ如ク、使用消費ヲ適正ナラシムルコトモ重要デアリマスルカラ、其ノ見地カラシテ、需要者ノ團體ト云フヤウナモノモ之ニ參加セシメルト云フコトハ、此ノ法案ノ中ニモ規定ヲ致シタノデアリマス、併シナガラ、林業會本來ノ目的ト致シマシテハ、生産育成ト云フ所ニアルト考ヘルノデアリマシテ、此ノ第一條ニ「使用又は消費」ノ所マデ、林業ノ改良發達ト相違ベテ標示スルコトハ如何カト存ズルノデアリマス、先ヅ本法案ノ如ク、需要者團體ヲモ林業會ニ參加セ

シメ、其ノ意向ヲ之ニ反映セシメルト云フ程度ヲ宜シクハナシカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○仲川委員 今御答辯ヲ得マシタガ、森林組合ト云フノデアアレバ、寧ろ原木デアリ加工致シテ居リマセスカ、生産配給便宜シカ、之ヲ製材シテ、用途ニ向ツテ加工スル所ノ林産組合ト云フコトヲ加味スル以上ハ、ドウシテモ國家目的、其ノ木材ノ最後ノ目的ニ副フヤウナ、製品ニスルコトガ國家ノ爲メ社會ノ爲ニ忠實ナコトデアアル、ソレヤラナケレバ元ノ日本、地木ノ如ク、ヤハリ彼等ハ唯値打ノアルモノ、得ナモノヲ造ツテ、最後ノ需要ノ目的ニ反スルモノヲ造ツテモ恬トシテ恥ジナイ所ノ、前ノ日本、地木ト同ジヤウナコトヲスルハデハナシカト云フコトヲ、非常ニ憂ヘルノデアリマス、此ノ資材ノ少イ日本デ、無駄ナコトヲシナイデ、林産組合ガ本當ニ社會ニ役立チ得ルモノヲ造ツテ行カウト云フコトヲ深ク考ヘル、新日本建設ニ於ケル林業會ノ目的ハソコニアルト云フコトヲ、私ハ深ク思料スルモノデアリマス、同時ニ第九條ノ第一項第二號ト第三號トノ間ニ「都道府縣ノ區域を地區とする業務上林産物ヲ使用又は消費する者ノ團體」ト云フコトモ、ハツキリ林業會ノ範圍トシテ正式ニ謳フベキデアアル、ソレハ必要ガアツテ山デ木ヲ伐ルコトモ要スルニ結構デアアルガ、又林産組合トシテ製造スルコトモ、消費ガヤツテ初メテ意味ガアルノデ、コ、ニ組合員トシテハツキリ謳ウタラドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ重テ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

ナリマスルト、却テ團體ノ活動ノ目標ヲ曖昧ナラシメルト云フヤウナ危險モアリマスノデ、林業會ト致シマシテハ、ヤハリ森林ノ育成並ニ林産物ノ生産ト云フ所ニ重點ニ置キマス、併シ適ガテ御話ノ如ク、消費、需要ノ面モ適正ナラシメルコトガ重要デアリマスノデ此ノ消費者ノ立場ヲ考ヘナイ生産或ハ配給ト云フモノガ行ハレテハ相成リマセスカ、其ノ意味ニ於キマシテ第九條第一項第三號ニ、林業ニ關係ナ關係有する事業を営む者トアリマス、只今御指摘ノ需要者ノ團體ト云フモノハ之ニ當嵌ル譯デアリマセカ、第三號ト致シマシテハ、稍々森林組合、林産組合トハ立場ヲ若干異ニ致シマスケレドモ、併シ齊シク林業會ニ入ツテ、色々ニ意見ヲ述ベル機會ヲ之ニ與ヘマスコトガ適切デアリカト云フ風ニ考ヘタノデアリマシテ、茲ニ森林組合聯合會ヲ林産組合ト全ク同等ニ並ベテ、需要者團體ヲ入レルト云フコトハ、却テ林業會ノ目的ナリ性格ナリヲ、餘リニ漠然トシ過ギヤシナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○仲川委員 御意見ヲ拜聴シマシタガ、ソコガ意見ノ違フ所デアリマス、私ハ請負業ガ本業デアリマスガ、請負ヤスル時ニ一番必要ナコトハ、其ノ仕事ヲ受取ツタ時ニ、此ノ仕事ニハドウ云フ物ガ要ルカト云フコトガ先デ、仕事ヤスルノハ後デアリマス、其ノ仕事ヤスルノニ適當ナ物ガアルカナイカ、或ハ思フヤウナ物ガ出來ルカ出來ヌカヲ考ヘルコトガ、請負師ハ一番必要デアリマス、此ノ林業會モ最後ノ使命ハ、ドウ云フコトヤスルコト云フノ目的一デアツテ、其ノ爲ニハ製材モ三寸ナラ三寸、二寸ナラ二寸、或ハ板ハ一尺幅ノモノガ要ルトカ、事業ニ必要ナモノヲ生産シ、ソレニ必要ナ林業ノ育成ヲ考ヘテ行クコトガ日本林業ノ根本デアアル、私ハ少クとも此ノ林業會ノ中心トナルモノハ、消費ニ矛盾シタ生産ハ決シテアリ得ナイ、國家のニ考ヘ、社會公共ノ爲ニ先ヲ考ヘルノガ當然ダト思ヒマス、人間ハ凡夫デアアル、前ノ指導者ガ作ツタ法ヲ運用スルノニモ、ソレヲ其ノ儘運用セズニ、生産配給ニハ獨自ノ立場ガアルノデ、各々ノ需要者ノ立場ヲ考ヘテヤル必要ガアル、サウシテ木材ヲ長イ太イ儘デ出セバ高ク賣レルド云フノデ、三寸ナラ三寸ニ切ツテ使フモノヲ、何十倍ト云フ努力ヲ掛ケ、運賃モ高イモノヲ出シテ、大キナモノヲ最後ノ消費地マデ持ツテ行ツテ、ソコガ短ク切ルコト云フヤウナ手數ヲ掛ケテ居ル、斯ウ云フコトヲ長イ間繰返シテ居ル、斯ウ云フコトヲ反省シテ、林業會ガ眞ニ國家ノ爲ニ、消費者ノ立場ヲ考ヘテ生産スルコト云フヤウニ、合理的ナ運用ガナサレナケレバナラナイ、此ノ點ハ是非御考慮ヒタイト云フコトヲ重テ申上ゲテ置キマス

次ニ今度生レル林業會ハ、眞ニ此ノ民主國家ヲ建設スル爲メノ理想のナ組合ヲ作リタイ、是ハ政府モ念願サレテ居ルト思ヒマスガ、左様ナ點ヲ考ヘテ、此ノ第九十四條ノ商工組合法ニ依ツテ設立サレタ林産組合ハ、三分ノ二ノ賛成サヘアレバ今度ノ林業會トナルコトガ出來ルト云フコトデアリマスガ、地方木材業者ハ凡ユル專横、矛盾撞著ノ結果、世間ノ怨嗟ヲ受ケタノデ、只今ハ彼等ハ第二ノ會社ヲ作ツテ居ル、ソレガ今度ハスツト此ノ林業會ニ入ル、更ニモウ一ツノ問題ハ、第九十一條ニ依ツテ社團法人日本林業會ノ權利義務ハ、此ノ法ノ示ス所ニ依ツテ日本林業會ニ承繼グト云フコトヲ考ヘルト、元ノ官僚橫暴ノ獨斷主義ノ統制法、數ガ技ケナイ、私ハソレヲ遺憾ニ思フ、斯様ナ問題ハ少クとも今度法トシテ發布スル以上ハ、新シク作り改メテ、民主的ニサセルコトガ必要デアリマス、九十四條ノ如ク、戰爭中ニ前ノ方々ガ作ツタヤウナモノヲ活カスコトハ、絕對必要ナイト考ヘマス、此ノ點ニ付テ御意見ヲ拜聴シタイと思ヒマス

○平川政府委員 現在商工組合法ニ依リマシテ各地ニ設立セラレテ居リマス林産業者ノ團體ト云フモノハ、地木社ノ實際ノ活動ガ消滅致シマシタノニ應ジテ、縣下ニ於ケル木材ノ統制事業ヲ縣カラ命ゼラレマシテ、擔當シテ居ルヤウナモノガ多イデアリマス、是ハ大體ニ於テ縣下ニ於ケル林産業者ト云フモノヲ總テ包容シテ居ルコトハアレマスノデ、之ガ一遍解散致シマシテ、新タニ林産組合ヲ設立スルコト云フ手數ナコトヲ致シマスノデ、今回ノ林産組合モ、現在ノ商工組合法ニ依リ業者ノ組合モ、何レモ縣下ニ於ケル業者ヲ包容シテ居ル團體デアルト致シマスナラバ、特ニ解散或ハ清算ト云フヤウナ厄介ナ、且ツ損害ノ多イ手續ヲ取リマスヨリハ、總會ノ決議ヲ以テ簡易ニ身代リヲ得ル方ガ、其ノ團體ノ爲ニモ有利デハナカラウカト云フ風ニ考ヘタニ過ギナイノデアリマス、若シ是ガ甚ダ非民主的デアルト云フノデ、新タニ業者ノ方々ガ集ツテ林産組合ヲ作ラウトサレルナラバ、ソレハ一向差支ヘナイ譯デアリマス、而モ此ノ林産組合ニ轉換テ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、總テ此ノ林業會法ニ依リマシテ民主的の役員ノ選任其ノ他ノ運用ガ行ハレル譯デアリマス、隨テ此ノ規則ノ爲ニ、非常ニ非民主的ナモノガ其ノ儘殘ルト云フ虞ハナイノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、日本林業會ニ付キマシテモ屢々御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、特ニ非常ニ深イ意味ガアル譯デアリマセヌガ、唯似タヤウナ目的ノ一部持ツテ居ル團體デアリマセカ、之ヲ解散、清算スルコト云フヤウナ損害ノ多イコトヲヤリマセヌデ、簡易ニ其ノ權利義務ヲ引繼グト云フコトガ出來レバ、其ノ方ガ業界ノ爲ニハ便利デハナカラウカト云フコトヲ考ヘタニ過ギナイノデアリマス

○仲川委員 監督官廳ノ方々ハ机上ノ論ヲ以テ總テノコトヲ御決メニナル結果、色々弊害ヲ生ジタト私ハ信ズルノデアリマス、統制會社ガ非常ニ社會ノ非難ノ的ナリ、其ノ結果官僚ガ寄ツテモウ一ツノ變ツタ會社ヲ作り、同ジ人ガヤツテ居ル、今度ノ林産組合ニ是ガ入ルコトニナルト、政治ノ御承知ノヤウニ、オ互ヒガ斯ウシテ議論シテ贊否ヲ決シマセケレドモ、サウシタ人ガ斯ウ云フ事業ノ特權ヲ握ル以上、ドウシテモサウ云フヤウニ指導シテ行クコトニナルト考ヘラレマス、我が國ノ戰後ニ於ケル所ノ森林ノ方々、元ノ議員、要スルニ翼賛會カラ推薦セラレテ居ル、茲ニ初メテ改メラレル、デアリマスガ、天下ノ惡法タル本統法ヲ運用シテ、サウシテ非難々々タル者ガ形ヲ變ヘテ殘ツテ居ル、ソレ宜イデヤナイカト云フコトデハ私ハ到底今度ノ此林業法案モ民主的の、サウシテ社會ガ之ヲ信用シ、立派ナ成果ヲ擧グルコトハ困難デアルト痛感スルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ特ニ私ハ再考

ヲ促シタリト思フノデアリマス、ソレカラ日本ノ概散シナクテモ宜イデヤナ
イカト云フコトデアリマスガ、今度ノ
日本木材統制會社ハ大體指導機關デア
リ、日本ノ決算書ヲ見ルト、中々
大シタ金ノ未拂ガアリ、又貸金モア
リ、非常ナ事業ヤツテ居ル、斯ウシ
タモノヲ今度新シク生レル所ノ指導機
關デアリ日本林業會ガ繼承シテ、所謂
其ノ性格ト業績トヲ引繼イデヤツテ行
クト云フ上ニ於テハ、相當ニ其處ニ融
融ガ生ズルと思ヒマス、先ヅ以テ安
全ノ方法ハ、今度出來タ林業會ハ其ノ
林業會ノモノシテ運営スル、現在ノ
健林業會ヲ進メ行カレルナラバ、如
何ニ幹旋ナサツテモ、人の機構ノ上ニ
於テ斯ウスルノダ、ア、スルノダト云
ヘルノコトハ、最も民主的デナイト考
ヘルトデアリマス、此ノ點ニ付テモ再
考ヲ願フテ置キタイ、ソレカラ最後ニ
御伺ヒ致シタイ問題ハ、私ハ東京ニ參
リマシテ、五月頃カラ參ッテ居リマス
ガ、未ダ會ヲ裝ハ配給ヲ受ケテ居リマ
ス、勿論私ハ常住シテハ居リマセヌ
ガ、私ノ居リマス家デモ配給ヲ受ケテ
居リマセヌ、暑イ今日ハ不自由ナガラ
越セマスガ、是カラ寒空ニ向フノデア
リマスカラ、今後ノ木炭ノ生産方面、
配給方面ニ付テ、確タル御確信ガアル
カト云フコトヲ御伺ヒシタイコト、
今度ノ林業會、之ニナゼ薪炭ヲ入レナ
カツタカ、入レルベキデヤナイカト私
ハ思フノデアリマス、今日ノ生産カラ
考ヘマシテモ、非常ニ重要ナアルト
云フコトヲ考ヘマシテ、是非トモ今度
ノ林業會ニ之ヲ入レシテ、サウシテ立派
ニ一貫シタ林業會ノ運用ヲ圖ルコトガ
當然デアルト、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス、更ニ私ノ申上ゲル問題ハ、承リマ

ス所ニ依ルト、大體森林組合ガ此ノ原
木ノ九割ヲ持つテ居ルコト云フヲ申
シテ居リマス、隨ヒマシテ原木ヲ持つ
所ノ森林組合ニ之ヲ生産セシメル、之
ヲ買上ゲサセル、サウシテ是ガ配給ヲ
スルト云フヤウナ一貫ノ運用ヲ致シ
マスコトガ、所謂生産ヲ絕對確保セシ
ムル上ニ於テ、又配給ヲ圓滑ナラシム
ル上ニ於テ、必要ナル事業デアリ私
ハ老ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテ、幸ヒ給木サンノイデアリマ
スカラ、給木サンニ御答辯ヲ願ヒマス
○鈴木(國)政府委員 木炭ノ東京都内
ニ於ケル事情ハ極メテ良クナイト云フ
御話デアリマス、御説ノ通りデアリマ
シテ、甚ダ残念ニ思フノデアリマス、
戰後マダ家庭燃料ノ需給ガ巧ク行ツテ
居ナイノハ甚ダ残念デアリマス、併シ
ナガラ木炭、薪ニ於キマシテモ、先年
ヨリハ僅カデアリマスガ、四割乃至六
割ノ計劃ヲ減ヤシマシテ、増産計畫ヲ
立テヤツテ居ルノデアリマス、特ニ木
炭ノ家庭燃料ハ、全生産額二百三十二
萬トシ、四割シテ二百一十二萬ト云
フヨウニ、四割五分餘ノモノヲ家庭燃料
ニ廻シテ居リマス、薪ニ於キマシテ
ハ、七千五百萬石ノ中デ五千二百萬石
ヲ廻シテ云フヤウニ、家庭用ニ重點ヲ
置イテ居ルノデアリマス、木炭ニ直シ
マスナラバ、家庭用ガ合計二億萬餘ニ
ナルト云フヤウニナツテ居ルノデアリ
マシテ、現在出マシタ數値ハ、東京都
内ニ於キマシテハ、四月カラ五月末日
マデニ一俵出ス豫定ガ半俵ニナツテ居
リマス、五人家族デ八月マデニ一俵出
スノガ半俵出テ居リマス、併シ是ハ十
二月マデニハ必ズ取返サレルと思フノ
デアリマシテ、現在半俵トナツテ居リ
マスガ、全國のニ言フナラバ、千五百

萬家族ニ對シテ七分六厘ノ配給率ニナ
ツテ居ル、一俵出セナイノハ残念デス
ケレドモ、六大都市ハ交通關係カラヤ
ハリ幾ラカ少クナツテ居リマスガ、是
ハ夏山増産其ノ他デ、最近非常ニ薪炭
増産ニ對シマシテハ、色々ノ意味ニ於
キマシテ國民ノ總意ガ向イテ居リマス
ノデ、本年ニ於キマスル生産増強ハ少
クトモ八割ニ行クノデハナイカ、七割
ハ既ニ豫想サレテ居リマスガ、計畫
ハ八割ニハ行クと思ヒマス、何トカ
ナルト思ヒマス、且ツ又東京都内ニ於
キマス皆極メ御不自由ニ付キマシテ
ハ、東京都ノ燃料關係官ト話合ノ上
デ、來ルベキ冬ニハ或ル程度ノ特配モ
考慮出來ルノデハナイカト考ヘ、十分
孫官ト相談ノ上デ善處致シタイと思
ヒマス
ソレカラ御話ノ薪炭ヲ同時ニ指定セ
ヨトコトデアリマスガ、之ニ付キマ
シテハ、平野議員カラ數回ニ互リマシ
テ御質問ゴザイマシテ、現在ハ木材ニ
重點ヲ置イテ居リマスガ、既ニ寒サモ
迫ツテ居リマスシ、本冬ニ於キマス薪
炭ノ造成ハ、食糧以上ニ窮乏デヤナイ
カ、非常ニ危險トナサレテ居リマスノ
上盛上ル力ニ依ツテ生産増強ヲ期シタ
イト思ヒマス
ソレカラ森林業者ガ薪炭ノ原木ヲ持
ツテ居ルガ方、之ニ全般的ニ生産ヲ任
セヨト御話デアリマスガ、森林業者
ガ喜ビ勇シデ薪炭ヲ作り、木炭ヲ作ルナ
ラバ、是ハ益々宜イと思ヒマスガ、唯
森林業者ハ森林ノ造成ニ、或ハ災害防
止、治水ナドニモ相當ノ力ヲ用ヒナケ
レバナラナイと思ヒマス、所謂戰
後ノ經營ハ、仕事ヲスルモノガソレニ
關係シタコトヲヤツテ行ク、而モ炭ノ焼

クモノト森林業者トハ違フ場合モアル
カト思ヒマスガ、森林業者ガ炭ヲ焼
キ、薪炭ヲ作ツタリスル場合ニ於キマ
シテハ、是等ノ方々ガソレ等ノ關係ノコ
トヲヤルコトモ結構ダト思ヒマス、要
スルニ、戰後ノ經濟ニ於キマシテ、實
力ノアル、ソレ等ノ用意ノアルモノニ
御任セスルコトガ一番安全デハナイカ
ト存ジテ居リマス、左様御諒承願ヒタ
イト思ヒマス
○仲川委員 木炭、薪ノ問題ハ、曾テ
新聞ニモ、非常ニ今年ノ多ハ危機デア
ルト云フコトモ報道サレマシテ、ソレ
カラ市民ハ非常ニ案ジテ居リマスガ、幸
ヒニ給木サンニハ熱心ナ、自信ノアル
御答辯ヲ戴キマシテ、了トスルモノデ
アリマス、寒空ニ向ヒマスノデ、是ガ
實行、生産、配給ニ對シテ、是非共御
配慮ヲ願ヒタイと思フノデアリマス
ソレカラ薪炭ヲ林業會ニ入レルト云フ
コトニ付イテ色々オ説ヲ伺ヒマシタガ、
私ハ此ノ林業會ノ中ニ木炭ヲ入レルコト
ガ一番合理的デアルト思フ、林業會ノ
健全ナ發展ヲサセルト云フコトガ必要
ダト思ヒマスノデ、此ノ事モ最大ノ考
慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ御願ヒスル
ト同時に、更ニ今後ノ木炭ノ生産配給
ト云フコトニ付テハ、是非共原木ヲ持
ツ森林組合ニサスルコトガ合理的
デアルト思ヒマスノデ、是非重テ御
考慮願フテ置キタイと思ヒマス、色々
ト御願ヒテ致シマシタガ、私ノ要點ハ
從來ノ惡法木統法ノ失敗ヲモツト反省
シテ、再ビ此ノ失敗ヲナカラシムル爲
ニ、是非共民主的ニ、而モ合理的ニ、
ソシテ山ヲ造ルノモ製材スルノモ、要
ハ消費ノ爲ニスルノデアアル、詰リ、需
要者ノ希望ニ副フヤウニ生産シテ、ソ
シテ國家意識ノ昂揚ヲ圖ラナケレバナ

ラヌト云フコトガ、此ノ會ノ使命デア
ルト思ヒマスノデ、是非共此ノ木材業
ノ保護、振興、ソレカラ需給消費ト云
フ方面ノ適正ヲ期スルコト云フコトヲ御
考ヘテ、一日モ早ク合理的ニ強力進メ
ラレンコトヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ
質問ヲ打切ルコトニ致シマス
○森委員 伊藤實雄君
○伊藤(實)委員 私ハ本案ガ上程ニナ
リマシタ所以ニ付テ御諒承不致シタ
イノデアリマス、本會議議ニ引續
ク委員會ニ於キマシテ、本案ハ木材ノ
生産ノ増強ヲ主ト致シマシテ、只今執
ツテ居リマスル所ノ森林組合ノミデ以
テハ、到底現下ノ木材需給ノ完壁ヲ期
セシレナイ、就中地方ニ依ツテハ、森
林組合ガ左様ニマデ發展致シテ居ラナ
イ、斯様ナ政府ノ御所信デアリマス
ガ、私熱々案ジマスルニ、只今各地方
トモ殆ド縣縣聯合ガ中心トナリマシテ
各單位森林組合デ木材供給ノ完壁ヲ期
シツ、アル、此ノ森林組合ガ、而モ森
林所有者ノ保護團體デアリマスル所ノ
組合ガ發展途上ニアリマスル時ニ於
テ、ワザノ何故ニ林業組合ナルモノ
ヲ作ツテ、二本建ニシテ林業組合ノ生
ヲ致サウトスルノデアアルカ、此ノ點ニ
付テ政府ノ所信ヲ御伺ヒ致シタイノデ
アリマス
○平川政府委員 木材ノ生産ニ付キマ
シテハ、現在ト雖モ森林組合ガ扱ツテ
居リマスルバカリデナク、寧ろ相當ニ
木材業者、或ハ從來ニ於キマシテ地
木社ト云フヤウナモノガ之ニ當ツテ居
ツタノデアリマス、今回ノ林業會法
ハ、森林組合ガ木材ノ生産或ハ加工等
ニ從事致シテ居リマスモノヲ壓迫スル
ト云フヤウナ意圖ハ毛頭ナイノデアリ
マシテ、唯從來ノ森林組合ト、又從來

タニ林董組合ヲ作ルト仰シヤル其ノ政府ノ意氣ヲ以テ之ヲ強力ニ指導致シマシテ、森林組合其ノモノガ完全ニ左様ナ一貫作業ヲシテ居ラナイ所ニ對シテテハ、政府ガ積極的ニ之ヲ指導致シマシテ、一貫シタル、而モ所有者並ニ所有者ヲ保護スル所ノ森林組合ト云フ組合ガアルノデアリマスルカラ、之ヲ指導致シテ、一本デ以テ木材ノ需給ノ完備

ヲ期シタイ、サウシテ業者ガ可愛イト
仰シヤルナラバ、業者ハ此ノ森林組合
ノ要員ニ入ツタラ宜イ、決シテ日本ノ
林産ト云フモノハアノ林産組合ノ獨
占事業デハアリマセヌ、ソコデ若シ政
府ニ於テ森林業者ガ可愛イ、或ハ失
ニナルト仰シヤルナラバ、森林組合
ノヲ使ヒマシテ、森林組合ノ方ニ事務
員トシテ働イテ、十分ナル所ノ力ヲ發
揮ガ出來ルノデアアル、何ガ故ニ新タシ
林産組合ト云フモノヲ作ツテ、サウシ

テ又將來非常ナ軌轢ノ生ズルガ如キ、
二本建ノヤウナモノヲ建テラレルノデ
アルカ、就中左様ナ林業組合員ノ商人
ニ對シテハ、政府ハ非常ノ努力ヲサレ
テ居ラレルガ、農家ノ主體トシタ所ノ
森林組合ニ對シテハ、何ガ故ニ今少シ
ク積極的ニ之ヲ指導シテ、是ガ一貫作
業ガ出來ルヤウナ指導ヲナサラヌノ
カ、此ノ點政府ノ御所信ヲ御伺ヒ致シ
タイノデアリマス

○鈴木(強)政府委員 滝ニ御説ハ御尤モデアルト存ズルノデス、併シナガラ森林業者ハ悠久五十年、百年ノ事業ヲ營ンデ居ルノデアリマシテ、林産業者ハ其ノ日ノ木材ヲ伐リ、其ノ月ノ計賣ヲシ、長クモ一年ノ木材ヲ伐ルト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、全然性格ハ變ツテ居ルト云フヤウナ意味カラ、森林業者ハ、事業ノ經營

ニ對シマシテハ生産モ、販賣モ、加工
モ出來ルガ、寧ろ大キナ事業トシテ悠
久ナル事業ヲアル信念ハ、ヤハリ製材
業者ナドハ、所ガアルト云フヤウナ
點カラ、一面ニ於キマシテハ、森林業
者ノ爲ニ國庫ハ非常ナ負擔ヲシテモ森
林ノ維持造成モシテ居ルシ、一面ニ於
キマシテハ中小工業者ノ立場カラ、事
業ノ立場、加工業者ノ立場カラ見て、
各々個性ヲ活カス所ニ日本ノ戰後ノ經
濟ノ建テ方ガアラウカト思フノデアリ
マス、隨ヒマシテ森林業者ニ付テハ、
國家ハ維持育成ニ付テドノヤウニモ力
ヲ致スアラウト思ヒマス、是ハ長イ事
業デアリマシテ、御説ノヤウニ利益ノ
少イ事業デアリマス、本當ニ國家的觀
念ノ事業デアリマスカラ、ソレハ申ス
マデモナイノデアリマス、併シ一面ニ
變ツタ性格ヲ持ツ中小工業ト云フモノ
モ、ヤハリ其ノ性格ニ於テ育成スルコ
トガ、綜合的ナ經濟ノ確立ニナラウカ
ト存ズルノデアリマス、左様御諒願
ツテ、サウシテ特ニ今度出來マスル林
業會ハ、其ノ意味ニ於キマシテ、大キ
ナ長イ生命ヲ持ツ森林業者ト、其ノ加
工販賣ヲスル業者ト、仲好ク自主的
ニ出來ル意味ニ於キマシテハ、一絲ニ
ナツタガ宜イノデアリマシテ、ト云フ點
カラ目論シテ、ト云フ點カラ、ドウ
カ其ノヤウナ特徴ヲ活カシ得ルヤウナ
方向ニ進ンダナラバ、經濟ノ發達ガア
ルカト存ジマス

致スト同時ニ、將來ノ植林、造林ニ力
ヲ入レルノデアリマス、斯様ニ考ヘル
ノデアリマスガ、ドウモ政府ノ只今ノ
趣旨ニ依ツテハ、絕對ニ左様デアルト
合點ガ行キ兼ねルノデアリマスガ、本
問題ニ付キマシテハ是レ以上御尋申
上デマセヌ

○伊藤(實)委員 此ノ問題ニ付キマシ
テハ、幾ラ話シマシテモ私ハ合點ガ行
キマセヌ、一體只今アリマスル所ノ森
林組合ノ徹底的ニ、積極的ニ之ヲ指導
致シマスル所ニ於テ、初メテ森林所有
者モ安心ヲ致シテ原木ヲ賣ル、洵ニ森
林所有者トシテモ喜ンデ原木ノ賣買ヲ

續イデオネ致シマスルガ、若シ林
業會ト云フモノガ成リ立チマシタ時
ニ、假ニ縣林業會ニ對シテ百萬石ノ木
材ノ割當ヲシタ、サウ云フ場合ニハ、
縣「ブロック」ノ今ノ縣廳廳長ト、縣ノ林
業組合ニ對シテ生産割當ハ、如何様
ニ數量ノ割當ヲナサルノデアリマスカ
○平川政府委員 縣ノ林業會ニ於キマ
シテ、森林組合側、林業組合側ガ集マ
ツタ上デ相殺ヲ致シマシテ、サウシテ
現實ニ森林組合ノ行ヒ得ル生産ノ量、
又林業組合側ノ行ヒ得ル生産ノ量ト云
フヤウナモノヲ觀ミ合セマシテ、實情
ニ即スルヤウニ兩者ニ振分テ致ス譯デ
アリマス

○伊藤(實)委員 サウ致シマスルト、
其ノ場合ニハ一體實績ト云フコトニ依
ルノデアリマスルカ、森林組合側ハ原
木ヲ幾ラ持ツテ居ル、林業組合側ハ透
シハスウデア、所謂原木蒐集ノ見透
シニ依ツテ割當ノ數量ヲ決定ナサルノ
デアリマスカ、コ、ラ邊リヲ御説明願
ヒマス

合ハ一步モ發達ガ出來スト云フコトニ
ナラウカト思フノデアリマスガ、其ノ
邊ハ兩者ガ能ク話合ヲ致シマシテ、實
績ト云フモノモ一ツノ重要ナル決定要
素デアラウト思ヒマス、ソレニ對シテ
森林組合側トシテハ、本年ハ此ノ位餘
計ヤリタイト云フコトデアレバ、其ノ
意見ヲ宜イトシテ、又相手方モ之ヲ理
解シ得ルノデハナカラウカ、其ノ間ニ
於テ若干ノ議論ハアルカモ知レマセヌ
ケレドモ、話合ノ上デ必ズ決定ヲ見ル
コトガ出來ルダラウ、斯様ニ考ヘテ居
リマス

○伊藤(實)委員 ソコデ問題ガ起キル
譯デアリマス、此ノ割當問題ニ付テ、
先ヅ第一番ニ森林組合ト、林業組合ト
意見ガ調ハナイト云フ風ナコトヲ見透
シマシテ、ドウセ此ノ林業組合ト森林
組合ハ猫ト大デ合ハナイト云フコトデ
以テ、將來紛爭ヲスルヨリカ、最初カ
ラ作ライナ方ガ宜イト云フコトニナリ
マシテ、林業會ト云フモノヲ作ライナ
ト云フ場合ニ於テハ、一體政府ハドウ
云フ風ナ處置ヲナサルノデアリマスカ
○平川政府委員 林業會ガ出來マセヌ
ケレバ已ムヲ得マセヌノデ、統制ガ行
ハレテ居リマス限リハ、官ノ方カラ直
接ニ割當ヲ致スト云フコトニナラウカ
ト思ヒマス

○伊藤(實)委員 官ガ直接ニ割當ヲト
ルト云ヒマス、森林組合ニナサルノ
デアリカ、或ハ一々個人業者ニナサル
ノデアリカ、官ガヤルノト言ヒマシ
テモ、下ノ何處ヲ一ツオヤリニナル
ノカ、ソレヲ伺ヒタイ

○平川政府委員 例ヘバ縣廳カラ森林
組合聯合會ニ對シテ幾ラ、林業組
合ニ對シテ幾ラ、更ニ森林組合及
ビ林業組合カラ、ソレハ系統ノ下部

○平川政府委員 從來所謂官治統制ト
云フモノガ色々非難ヲ受ケマシタコト
カラ考ヘテ見マシテモ、サウ云フ自治
的ナ團體ヲ作ツテ、業者或ハ森林所有
者等ガ民間團體ニ於テ割當等ヲ致シタ
イ、斯ウ云フコトガ一般ノ民意デハナ
カラウカト私共ハ考ヘテ居ル譯デアリ
マス、ソレヲ縣ノ林務課ガ、頭ゴナシ
ニ割當ヲスルト云フコトガ官僚獨善デ
イケナイノダ、斯ウ云フコトガ現在ノ
一般ノ世論デアラウト考ヘマシテ、斯

ウ云フ自治的ナ機關ヲ作ルノガ宜カラ
ウト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シ民
間ノ方ニ於テ、ヤハリ官治統制ガ宜シ
イ、民間デハ話ガ難マラヌカラ役人ニ
ヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデアレ
バ、私共ハサウ云フコトモ差支ヘナイ
ト思ヒマス

○伊藤(實)委員 官治統制ト云フ意味
デハナイノデスガ、然ラバ縣林業會ニ
對スル所ノ命令ハ一體何處カラ來ル
カ、是ハ日本林業會カラ來ルノカ、一
體日本林業會ニ誰ガ命令スルノカ、我
我國民ガ命令シタモノデハナイ、政府
カラノ命令デ、人民カラ命令シタノデ
ハナイ、根ヲ質セバ官治デハナイカ、
然ルニ從ラニ答辯ニ於テ委員會ヲ胡雜
化サンガ爲ニ、縣ガヤツタラ官治統制
ダ、國ガヤツタラ官治統制デナイト云
フ意味ハ何處ニアルカ、コ、ラアタリ
ノ説明ヲ願ヒタイ

○平川政府委員 其ノ點ハ確カニ官ノ
方カラ大キナ押デ決マル譯デアリマ
ス、併シナガラ例ヘバ本年度全體デ以
テ七千萬石生産ヲスルトカ云フヤウ
ナ、大キナ押ハ政府ノ方デ決マルノデ
アリマスケレドモ、ソレヲ決メルニ付
キマシテモ、民間ノ意向ヲ十分參酌シ
テ決メルト云フ意味ニ於テ、日本林業
會ノ意見ヲ徵ス、又日本林業會ハ林
業委員會ノ意見ヲ徵スト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、更ニ此
ノ大キナ押ハ範圍内ニ於テ、具體的
ニ各縣ノ何處ノ組合、或ハ誰々ガド
レダケノモノヲ生産スルカト云フヤ
ウナコトハ、其ノ枠内ニ於テ林業會自
身ガ相談ノ上デ決メ得ルコト云フヤウ
ナ組織ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ
假ニ林業會ト云フ團體ヲナクシマスレ

バ、直接ニ官ノ方カラ單位組合、或ハ聯合會等ニ問テ行カネバナラヌト云フコトニナル譯デアリマス。併シソレニシテモ、成ベクソレハ現在ノ森林組合ナリ、林業組合ヲ使ツテ行クト云フコトニハ運用サレルト思ヒマス。ケレドモ、併シ其ノ森林組合ナリ双方ノ間ニ於テモ、其ノ間ノ適當ニ付キマシテモ、出來ルコトナラバ、お互ヒノ間ノ話合ザ自治的ニヤラレル方ガ民間ノ御希望デモアルデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス。

○伊藤(實)委員 私人考ヘ様トシマシテハ、中央ニ於キマス所ノ、詳細ノコトニ付テ分ラナイ日本林業會デスカ、ソレト政府ガ話合ニナルヨリモ、縣ヘ下ツテ、縣内ノ事情ノ能ク分シタ縣森林、或ハ林業組合、縣當局、林業會ガナイト云フコトニナルト、縣當局ガオ世話サルト仰シヤル、サウシテ縣森林組合ト林業組合トノ意向ヲ聽イテト云フコトデスカ、縣内ノコトハ能ク事情ヲ知ツテ居ル人ガアル、サウ云フ方ト、今ノ業者關係ノ林業組合ト、所有者關係ノ森林組合、縣森林組合ト、所有合トノ協議ニ依ツテ、實情ヲ知ツタ者同士ガヤツタ方ガ宜イノデヤナイカ、要ラザル所ノ統制組合ニ似タヤウナ、誰ヤラデヤナイガ、アルコト「ル」飲ンデ死ンダゲナガ又飲ンデ死ヌト云フヤウナ、所謂木材統制會社失敗シテ、又同ジヤウナ、自主的々々ト仰シヤルノハ政府ノ口癖デ仰シヤルノデスカ、如何様ニ自主的ト仰シヤツテモ、農家位置ハ社會的ニ弱イ者ハアリマセヌ、表決權ガドチラモ五デアル以上ハ、ドウシタツテ商工關係ノ方ガ勝ツニ決マツテ居ル、農家ト云フモノハ非常ニ政治力ガ弱イ、社會的ニ力ガアリ

マセヌカラ、商工關係ノ方ガ牛耳ツテ行クトハ當リ前デアリマス、隨テ森林組合側ガ林業組合側ニ壓迫サレルコトハ當然デアル、自主的ト云フノハ洵ニ宜イ言葉デアリマスガ、之ヲ實現サレタ曉ニハ、必ズ現在ノ地木、日本トモ頭變ラナイモノガ生レテ來ルト私ハ思フ、斯様ナコトヲ考ヘマシテ、如何様ニ聽キマシテモ林業會ノ設立ヲシナクテハナラヌ、林業會法ヲ提案シナクテハナラヌト云フ此ノ根本理念ニ付テ、私ハドウシテモ承服スルコトハ出來ナイデアリマス。

中ニ入レタイ、斯様ニ仰シヤルノデ薪炭問題ニ付テ御尋ね致シタイノデアリマス、本會議ノ時ニモ、私燃料配給統制會社ニ付テ、詳細ナル内容ヲ打明ケマシテ質問致シタノデアリマスカラ、軍需ニ此處ニ申サマデモナイト思ヒマス。ルガ、何ト云ツテモ燃料配給統制會社ノ手數料ト云フモノハ、洵ニ驚ク程ノ手數料デアリマス、廣島縣ノ例ヲ取ルト、生産者一圓三十錢ノ薪ガ、消費者ニ渡リマス時ニハ一圓七十五錢、一圓四十五錢ハ一體何ニ取ラレルカト云ヘバ、燃料配給統制會社ガ七十錢取ル、其ノ中僅カ五錢六厘ヲ單位森林組合ニ渡ス、政府ノ木炭事務所ガ七十錢取ル、斯様ナコトデ薪ノ生産者出來ル譯ハアリマセヌ、燃料配給統制組合ノコトデアリマスガ、將來ニ將來デハアリマセヌ、私トシテハ直チニ之ヲ廢止シテ實ヒタイノデアリマスガ、政府ハ燃料配給統制會社ニ付テハ如何様ナル御意見ヲ持ツテ居ラマスカ、又政府木炭事務所ハ一體何ヲシテ、ドウ云フ風ナコトヲシテ居ルノカ、何ノ役ニ立ツノカ、七十錢モ手數料ヲ取ツテ何ヲシテ居ルカ、此ノ詳細ナル御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

制ヲヤツテ行ク上ニ於テ必要ダト存ジテ居リマス。尙ホ此ノ統制組合ノ「マージン」ガ非常ニ多イト云フ御話デアリマスガ、只今ノ小運送ノ賃金ノ暴騰關係等カラ考ヘマシテ、實際ニ組合デ手數料トシテ取立テテ居ルモノハ、大部分ハ輸送費ノ方ニ取ラレテ居ルヤウナ關係デアリマシテ、組合ノ手數料ト致シマシテハ、只今ノ所サウ多クハナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、更ニ此ノ點ハ研究ヲ進メテ居リマス、尙ホ木炭事務所ノコトデアリマスガ、木炭事務所ノ方ノ仕事ハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、政府デ薪炭ハ自家用ヲ除キマシテ全部ヲ買上ゲテ、輸送、配給マデ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ事務ヲ執ツテ居リマスノガ木炭事務所ノ仕事デアリマス。

○伊藤(實)委員 サウスルト廣島縣デ申スト廣島市ガ消費地デアルガ、隣リノ郡カラ入レテ來ルト云フ場合ニ、運賃ハ一體何處ガ出シテ居ルノカ、燃料配給統制會社デ出スノカ、政府木炭事務所デ出スノカ、例ヘバ此ノ町ニ對シテ此處カラ持ツテ行クト云フ場合ニハ、誰ガドレダケ金ヲ拂ツテ、誰ガドレダケ儲ケルノカ、之ヲハツキリ御説明ヒマス。

○伊藤(實)委員 私人考ヘ様トシマシテハ、中央ニ於キマス所ノ、詳細ノコトニ付テ分ラナイ日本林業會デスカ、ソレト政府ガ話合ニナルヨリモ、縣ヘ下ツテ、縣内ノ事情ノ能ク分シタ縣森林、或ハ林業組合、縣當局、林業會ガナイト云フコトニナルト、縣當局ガオ世話サルト仰シヤル、サウシテ縣森林組合ト林業組合トノ意向ヲ聽イテト云フコトデスカ、縣内ノコトハ能ク事情ヲ知ツテ居ル人ガアル、サウ云フ方ト、今ノ業者關係ノ林業組合ト、所有者關係ノ森林組合、縣森林組合ト、所有合トノ協議ニ依ツテ、實情ヲ知ツタ者同士ガヤツタ方ガ宜イノデヤナイカ、要ラザル所ノ統制組合ニ似タヤウナ、誰ヤラデヤナイガ、アルコト「ル」飲ンデ死ンダゲナガ又飲ンデ死ヌト云フヤウナ、所謂木材統制會社失敗シテ、又同ジヤウナ、自主的々々ト仰シヤルノハ政府ノ口癖デ仰シヤルノデスカ、如何様ニ自主的ト仰シヤツテモ、農家位置ハ社會的ニ弱イ者ハアリマセヌ、表決權ガドチラモ五デアル以上ハ、ドウシタツテ商工關係ノ方ガ勝ツニ決マツテ居ル、農家ト云フモノハ非常ニ政治力ガ弱イ、社會的ニ力ガアリ

尙ホ續イテ、承服スルコトガ出來ナイト言ヒマシテモ、政府ガ提案シ、本會社ニ委員會ニ於テ色々御説明ニナリマシテ、只今審議中ナノデ撤回モ出來ナイ譯デアリマセウカラ、假ニ是ガ出來ルモノトシテ一ツ質問致シタイノデアリマス、其ノ第一番ハ、第一條中ニ「林産物」とハ、木材その他森林から產出する物で主務大臣の指定するものをいふ。」斯ウ云フ風ニ書イテアリマスカ、主務大臣ガ指定スルモノノ中ニハ一體如何ナルモノガアルカ。

○中尾政府委員 燃料統制組合即刻廢止シタラト云フ御意見デアリマスガ燃料配給ノ經路等ニ付テハ、只今色々老究ハシテ居リマスガ、兎ニ角薪炭ヲ政府デ買上ゲマシテ配給ヲ致シテ居リマス以上ハ、此ノ配給方面ノ機關ハドウシテモ必要デアリマスノデ、唯其ノ「マージン」其ノ他ノコトニ付キマシテハ、御話ノ通り色々ノ點モアルノデアリマスガ、此ノ點ハ更ニ研究致シマシテ善處致シタイト思ツテ居リマス、此ノ機構ノコトニ付キマシテハ、當分統

○伊藤(實)委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、燃料配給統制會社ハ配給スルノダ、而モ小運送ノ關係ガ云々ト、洵ニ運賃ガ山要ルト云フヤウナ話デアリマス、是ハ又一理窟ナノデ、相當要リマセウガ、縣ニ依リマスレバ大體隣村ヘ配給スルト云フ位ナコトガ普通ナノデ、左様ナ運賃ガ要ラウトモ思ヒマセヌ、思ヒマセヌガ是モ理由ハ立ツ、理由立ツトシマシテモ、燃料配給統制會社ガ小運送賃ガ要ル、只今政府木炭事務所モドウヤラ配給ノコトヲヤツテ居ルノダト言ハレル、一體左様ニ二重ニ運賃カ要ルノカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○鈴木(強)政府委員 木炭ノ事務所ノヤツテ居リマスコトハ、恐ラク廣島縣ナラ百何箇處或ハ二百何箇處ノ薪ノ集荷所ガアルコト存ジマス、所謂政府ノ指定スル薪ノ集荷所、其處カラ縣内ニ持ツテ行ク、「トラック」デ積ムモノ、或ハ汽車デ積ムモノ、之ヲ「ブー」シマシテ、約七十錢位掛カルモノヲ政府ハ負擔シテヤツテ居リマス、其ノ外ニ政府ハ、廣島縣ガ若シ生産縣デアレバ、他縣ヘ出ス費用モ其ノ中ニ包含シテ居リマス、全國的ニ「ブール」ヲヤツテ居リマス、ソレカラ燃料組合ノ取リマスモノハ、縣内ニ於キマス政府ノ木炭事務所ガ、指定ノ賣渡場所ト云フノガゴザイマシテ、例ヘバ廣島市ニ對シテハ何處ノ配給所ニ持ツテ行クトカ、或ハ廣島縣ノ何々郡ノ何々村マデ政府ガ持ツテ行ク、其ノ先ノ配給費ニ縣内ノ「ブール」ノ計算ヲシテ配給費ヲ取ツテ居ルト云フコトデアリマス。

○伊藤(實)委員 薪炭ヲ指定スル、斯様ニ仰シヤツテ居リマスコトハ、大體此ノ林業會ヲ御作りニナル上カラ當然デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、薪炭ヲ只今主務大臣ノ指定スルモノノ

○伊藤(實)委員 薪炭ヲ指定スル、斯様ニ仰シヤツテ居リマスコトハ、大體此ノ林業會ヲ御作りニナル上カラ當然デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、薪炭ヲ只今主務大臣ノ指定スルモノノ

○伊藤(實)委員 薪炭ヲ指定スル、斯様ニ仰シヤツテ居リマスコトハ、大體此ノ林業會ヲ御作りニナル上カラ當然デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、薪炭ヲ只今主務大臣ノ指定スルモノノ

○伊藤(實)委員 薪炭ヲ指定スル、斯様ニ仰シヤツテ居リマスコトハ、大體此ノ林業會ヲ御作りニナル上カラ當然デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、薪炭ヲ只今主務大臣ノ指定スルモノノ

○鈴木(強)政府委員 縣内ニ於キマシテモ、政府ノ木炭事務所ガ概ネアルノデゴザイマス、ソレハ燃料組合ノ受渡場所マデ政府ガ持ツテ參リマス

○伊藤(實)委員 サウ致シマスト燃料
配給統制組合云フモノノ手數料ハ洵
ニ莫大ト思ヒマス、例ヘバ、縣内ニ
モ數箇處政府ノ木炭事務所ガ御指定
所ガアルト思ヒマス、一體全國ノ通ジ
テ、大キイ縣ハ別トシマシテ、普通ノ
縣ハ何「キロ」四方ト申シマスカ、平
方ト申シマスカ、或ハ郡ト申シマス
カ、郡ノ單位ニ置イテアルノカ、何箇
町村位ヲ單位ニ置イテアルノカ、此ノ
邊リヲ總キマセスト、一體燃料統制組
合ト云フモノハドレデケレバ、ドレ
ダケ暴利ヲ貪ツテ居ルカト云フコトガ
ハツキリ分ラナイト思ヒマス、郡ノ單
位ニ政府ノ木炭事務所ハ今ノ荷場ヲ設
ケルノカ、此ノ邊リヲ詳細ニ御説明願
ヒマス

○鈴木(強)政府委員 大體政府ヲ渡シ
マスノハ、驛ノアル所ノ著者デ「ホーム」
デ渡シテ居リマス、サウシテ七十錢ノ
配給費ハ高イト云フ語デゴザイマス
ガ、ソレカラ先引取、ソレヲ倉庫ニ
入レテ倉庫カラ出ス、斯ナラ何東、木
炭ナラ何後ト云フコトヲ計畫のニ出
ス、或ル場合ニ於テハ一東ツ運バナ
クチヤナラヌ、サウシテ一度ニ五東運
バセルモノガ、少クナレバ一東デモ運
バナクチヤナラヌ、現在ノ色々ノ物價
ノ昂騰カラ言ツテ、六十錢、七十錢ト
云フモノハサウ高イモノデハナイト云
フコトハ、常識的ニ考ヘラレト思ヒ
マスガ、又サウシテ統制機關ナルモノ
ハ不當ノ利益ヲ取ツテ不當ニ分配スル
モノガアレバ、監督官廳ガ十分取締ツ
テ、ナイヤウニシテ居リマス、又今度
ノ統制組合ナル團體ハ株ノ配當ニモ制
限ガシテアリマス、サウシテ又其處ニ
居ル現業員或ハ配給ノ統制組合員兩者
ガ立ツテ居リマスノデ、常ニ十分ナル

監督ヲシテ居リマス、且又縣ニ於キマ
シテモ、其ノ町ニ何箇所ノ配給所ガア
リ、何名ノ現業員ガ居ルカト云フ調査
ヲシテ居リマスノデ、現在デハソレ等
ニ携ツテ居ル人々ノ生活ハ、他ノ業務
ノ人ヨリ極メテ低イ位置ニアルト思ヒ
マス

○伊藤(實)委員 ヤタラニ運賃々々ト
仰シヤイマスガ、此ノ際政府御當局ニ
希望申上ゲマスコトハ、運賃ノコトガ
特ニ政府委員各位ハ眼ニ見エラシイ
ガ、縣ツテ生産者ノコトヲ考ヘマス
ニ、アノ松ヤ杉ノ木ヲ、深山ノ間値ヲ
拂ツテ鋸ノ目立ヲシテ切り、之ヲ割
リ、東ニスル、此ノ長イ間ノ生産者ノ
勞力、而モ指定ノ箇所マデ持ツテ行カ
ナレバナラナイ、廣島縣ノ例ヲ諒々
申上ゲルヤウデスガ、生産者ニ對シテ
ハ一圓三十錢拂ヒ、ソレガ輸送ダ、運
賃ダト云ツテ、夥クナカレ二圓七十錢
ニ登ラレテ居ル、然ラバ生産者ハ一體
ドウスルカ、鋸ノ目立ニ關値マデ拂
ツテ、山ニ行ツテ切ツテ、自宅マデ背
負ツテ歸ル、此ノ運賃ヲドウスルカ、
自宅マデ持ツテ歸ツテ薪ヲ作ツタノミ
デハ濟マナイ、之ヲ東ニシテ縛ツテ、
ヤレ何尺何ボト云フ規格ニ依メテ、指
定ノ場所マデ持ツテ行ク運賃ハ誰ガ拂
フ、コ、等邊リヲ十二分ニ聲明ナル御
判斷ヲ願ヒマシテ、將來ハ後ラニ製品
ニ付テ運賃トカ何ト云フヨリハ、實
際ニ生産者ノ身ニナツテ貰ハナケレバ
ナラヌ、而シテ又薪等ヲ專門ニシテ居
ラレル方ハ、農家トシテ保有米ガ今マ
デハ相當窮乏ナド、ドウシテモ上
ノ仰シアルヤウナ保有米デハ足ラナイ
ノデアルカラ、横流シヲ買ツタリス
ル、山ニ行ク者ハ腹ガ非常ニ空クモノ
デ、三合、五合ノ米ヲ以テ薪ガ出來ル

ノデハアリマセス、山ニ行ケバ日ニ一
升ハ食ハナケレバ仕事ハ出來ヌ、サウ
云フ労働者ノコト、或ハ其ノ運搬費ノ
コトハ御考ヘニナラズ、出來マシタ製
品ニ付テ、所謂商品トシテ商人ノ手ニ
渡ツテ、初メテ運賃トカ何トカ考ヘ
ル、農林省ハ農民ノ味方デアルト、三
千萬農民ハ農林省一人ヲ頼リニシテ居
ル、其ノ農林省ガ生産者ノコトハ何モ考
ヘズ、商品ニナツタ物、或ハ商賣人ニ對
シテ運賃ヲ考ヘル御同情アル考ヘハ造
幣千萬デアル、ドウゾ將來ハ農民ノ味
方ニナツテ、農林御當局ニ於テハ、常
ニ農家ノ味方トシテ、農家ノ爲ニ政治
ヲヤツテ貰ハナケレバナラヌ、商賣人
ノ爲ニ世話ヲ焼カレヌデモ外ニ幾ラデ
モイラツシヤル、ココ等アタリカラ日
本ノ食糧危機ヲ來タシタノデアル、食
糧増產ヲ言ツテ居ルガ、本當ニ農民ヲ
愛スル心持ガナイカラ斯ウ云フ結果ニ
ナツタノデアル、私ガ斯ウシテ森林組
合ノ爲ニヤラナクテハナラヌト云フコ
トモ、森林組合ガ全ク常ニ業者ニ壓迫
サレテ居ル、殊ニ林業會ガ出來テ又再
ビ壓迫サレバナラナイカ、斯ウ云フ
悲慘ノ所謂労働者階級デアル所ノ、原
木ヲ伐リ、薪ヲ作ル、斯様ナ農家ヲ主
體ト致シタ労働者ノ爲ニ、私ハ特ニ農
林御當局ノ眞劍ナル御考慮ガ煩シタイ
ト思フノデアリマス

○第二項ニ、故ラニ今申シマシタ二項
ト同ジコトヲ書イテアル、林産組合ハ
政府ノ指示ニ基キ林産物ノ生産云々、
尙ホ林産組合ハ林産物ノ價格統制ニ關
スル政府ノ施策ニ對スル協力ト、第三
番目ニハ林産組合ハ政府ノ指示ニ基キ
林産業ニ必要ナ物資ノ割當云々ト、斯
様ナコトガ故ラニ謳ツテアルニモ拘ラ
ズ、森林組合ニハ何ガ故ニ斯様ナ事業
ノ出來ルコトガ法律デ明記致シテナイ
ノカ、此ノ點政府ノ御所信ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○平川政府委員 林業會ハ此ノ會員ニ
對シマシテ、只今ノ四條第二項ノヤウ
ナ政府ノ施策ニ對スル協力ヲ行フ譯デ
アリマスガ、其ノ割當等ヲ受ケマシタ
林産組合ハ、亦其ノ組合員ニ對シマシ
テ同様ノ割當、或ハ施策ニ對スル協力
等ヲ行フ譯デアリマス、森林組合ニ付
キマシテ此ノ一項二項ヲ明記致シマセ
ヌデシタコトハ、形ノ上カラ或ハ不均
合カトモ存ズルノデアリマスガ、併シ
此ノ第二項ノ事業ハ、本來必ズモ茲
ニ明記ヲ致シマセヌデモ、第一項ノ方
ノ事業目的カラ致シマシテ當然出來ル
コトデアリマス、又第二項ノ方ハ、此
ノ自治統制ノ行ハレル間ノ臨時的ナ基
定デアル譯デ、統制ガ行ハレナイ場合
ニ於キマシテハ此ノ問題ノ方ハ要ラナ
イ譯デアリマス、森林組合ノ方ニ於キ
マシテハ、本來ノ目的トシテ森林ノ造
成、育成ニ主眼ヲ置キマシテ、唯出資
森林組合ニ於キマシテハ、組合員ノ生
産物ニ付キマシテ共同加工等ノ事業ヲ行
ヒ得ルコトニナツテ居ル譯デアリマス
ガ、森林組合ニ付キマシテハ、是等ノ
事業ハ稍、例外的デアルト云フコトカ
致シマシテ、特ニ之ヲ謳ハナカツタ
ノデアリマスケレドモ、併シ其ノ爲ニ

午後一時四十分開議
○森委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開
キマス——伊藤君

○伊藤(實)委員 先刻ニ引續イテ御尋
ネヲ申上ゲマスガ、第四條第二項ノ規
定ハ、第一項ノ規定ガアレバ無クモ
森林組合ハ出來ル、斯ウ云フ風ナ御答
辯デアリマシタガ、一項ガアレバ二項ガ
ナクテモ出來ルト仰シアルナラバ、何ガ
故ニ林産組合ニ限ツテ斯様ナ規定ヲ御尋
ゲニナツタノデアルカ、尙ホ必要アラバ
森林組合ニハ勸令デ以テ左様ナコトヲ設
定スル、斯ウ云フ風ニ仰シヤツタノデア
リマスガ、勿論森林組合ガ木材ノ供給ヲ
代行スル時ニ於キマシテハ、尙ホ林産行

午後一時四十分開議
○森委員長 暫時休憩致シマス、午後
一時半カラ再開致シマス
午後零時十九分休憩

午後一時四十分開議
○森委員長 暫時休憩致シマス、午後
一時半カラ再開致シマス
午後零時十九分休憩

午後一時四十分開議
○森委員長 暫時休憩致シマス、午後
一時半カラ再開致シマス
午後零時十九分休憩

政カラ申シマシテ、森林組合モ必要デアルト思ヒマスガ、必要ナラバ勅令デ以テ決メ、又一方サツキノ御答辯デハ、林業會ニハ此ノ第一項ガアレバ第二項ハナクテモ出來ルノダ、出來ルモノ何ガ故ニ、殊更ニ林業組合ニハ第二項トシテ新様ナ三箇條ヲ御答辯ニナツタカ、置クナラバ兩方置カナクテハナラナイ、一項ガアレバ二項ハ出來ルトナレバ雙方トモ之ヲ置ク必要ハナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマスガ、之ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 此ノ第二項ノ事業ハ、自治統制ヲ行ヒマスル機關ノ臨時ノ事業ト致シマシテ、稍々特殊ノ形ヲ持ツタ事業デアリマスノデ、特ニ必ズシモ明記シナクテモ出來ルノデアリマスケレドモ、目新シイ事業デアリマスル爲ニ、注意のニ此處ニ記載シタニ過ギナイノデアリマス、尙ホ勅令等ヲ以テ規定スルト云フコトヲ申シマシタノハ、サウ云フ趣旨デアリマスケレドモ、實際問題トシテ、地方ニ於テ是ガ森林組合ニハ出來ナイノダト云フヤウナ誤解ヲ生ズル虞ガアルト云フ御議論ガ大分ゴザイマシタノデ、サウ云フコトデアレバ、勅令ニ明記スルト云フコトナラ、ソレガ出來ルト云フコトガ能ク分ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘタ

○伊藤(實)委員 ソレデハ次ノ問題デアリマスガ、植林ニ付キマシテハ、本年度カラハ事業見積リヲ千四百四十圓トシテ七百二十圓ノ補助ト相成ツテ居ルノデアリマスガ、此ノコトニ付キマシテハ先達テ御質問ガアツタト思ヒマスガ、現在ノ植林費用ハ大體二千圓ナケレバナラス、ソレデハ七百二十

圓實ツタノデハ玆ニ千三百圓程度ノ不足ヲ來ス、然ルニ現在新圓ノ狀態カラ見テ、山林所有者ハ植林ニ付テ一町歩當リ千三百圓ノ新圓ヲ出ス、ソシテ少クトモ二十五年シナクテハ收入ノ見透シガ付カナイト云フ風ナ長期ノ事業デアリマスルガ、此ノ資金ニ付テハ、農林中央金庫ヨリ長期低利ノ貸付方法ヲ考ヘル云々ト云フ御答辯ガアツタヤウニ、私聞イテ居ルノデアリマスガ、ハツキリシタ所ノ當局ノ御意見ヲ承ハラナイノデアリマスガ、一體植林、造林ニ對シマスル所ノ、所謂所有者負擔ノ金額ニ付テハ、將來果シテ政府ハ長期低利ノ貸付金融ノコトニ付テ、十二分ニ御考慮ニナツテ居ルカ、此ノ點確乎タル御答辯ヲ御願ヒ申上ゲタイノデアリマス

○平川政府委員 政府ノ方デ算定ラシテ居リマス單價ガ、實際ノ費用ト或ル程度隔ツテ居ルト云フコトノ爲ニ、御指摘ノヤウナ不都合ガアルカト思ヒマス、氏ノ單價ノ問題ニ付キマシテハ、尙ホ經濟界一般ノ實情ニ即應致シマシテ、變更スル必要ガアルモノハ變更致シタイト思ヒマス、ソレカラ造林ニ付キマシテノ金融ニ付キマシテハ、中央金庫ノ方デ十分ニ面倒ヲ見テ貰ラウト云フコトニ諒解ヲ進メテ居リマス

○伊藤(實)委員 次ニ先刻同僚ヨリ、財產稅課稅ノ物納ノ場合ニ、山林ノ納付ト云フコトガアリマシタガ、此ノ物納ノ場合ニ政府ハ土地ト一緒デモ物納トシテ御徴リニナルノデアリマスガ、或ハ立木ノ課稅トシテノ御受納ガアル譯デアリマスガ、此ノ點ヲ御説明願ヒマス

○平川政府委員 土地ヲ御括メナリマシテモ差支ヘアリマセヌ、立木ダケデモ差支ヘアリマセヌ

○伊藤(實)委員 サウ致シマス、立木ノ課稅トシテノ受納ノ場合ト、土地ヲ括メテノ受納ノ場合ノ管理等ニ付テハ、政府ノ方針ハ如何ヤウデアリマスガ、此ノ二方面ニ付テ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 實際問題ト致シマシテ、其ノ土地ノ狀況等ニ依リマシテ特色運フカト思ヒマスガ、立木ノミノ場合デアリマスレバ、ソレガ伐期ニ依リマスレバ、官行デ立木ノ形ニ於テ之ヲ販賣フト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ伐期ガ來テ居リマセヌヤウナモノデアリマスレバ、暫クノ間國ガ國有林トシテ管理スル、地上權設定ニ依リマシテ、國有林トシテ管理スルコトニナラウカト思ヒマス、土地ガ附イテ居リマス場合ニハ、固ヨリ國有林トシテ管理スルト云フコトニナル譯デアリマス、唯此ノ土地ノ狀況ニ依リマシテ、餘リニ零細ナモノデアリマスレバ、之ニ付キマシテハ別途又存廢ノ整備ヲ致サナケレバナラスカト存ジマスガ、差當リハ國ノ方デ其ノ儘管理シテ行キタイト云フコトニナツテ居リマス

○伊藤(實)委員 其ノ場合ニ土地ト立木ト共ニ課稅スルコトニ一部相成ツタ時ニ、轉々トシテ國有林ガ出來ルト云フヤウナコトニナリマスレバ、此ノ管理等ニ付テハ、單位森林組合或ハ縣森林組合管理方代行致サスヤウナ、政府ノ御意向ガアルゴザイマセウカ

○平川政府委員 森林組合ニ管理ヲ委託スルト云フコトモ、一ツノ手段トシテ考ヘラレルト思ヒマス、現在ノ所ハ

マダサウ云フ方法ヲ具體のニ考ヘテ居ラナカツタノデアリマスガ、存廢ノ區別ニ依ツテ、場合ニ依リマシテハ、之ヲ拂下ゲルト云フヤウナコトモアラウカト思ヒマス、一時管理ノ方法トシテ御話ノ如キ森林組合ニ、餘リニ零細ナモノニ付テハ委託スルト云フヤウナコトモアラウカト思ヒマス

○伊藤(實)委員 續イデ最後ニ御尋ネ致シタイコトハ、農地調整法ニ依ツテ自作農ガ積極的ニ創設ニナリマスコトハ、洵ニ結構ダト思ヒマスガ、現在ノ肥料不足ナ折柄、尙ホ將來トモ肥料ハ潤澤デアルトハ、我々豫想致サヌノデアリマスガ、此ノ時ニ自給肥料ノ獎勵ト云フコトハ、勿論農林省當局ハ懸命ニ御叫ビナツテ居リマスガ、自給肥料ニ最モ肝要デアリマスモノハ山ノ芝草デアリマス、今回ノ農地調整法ノ提案ト同時ニ、尙ホ是ハ法律トシテ出マシタ曉キニ於テ、今申上ゲマシタ自給肥料ノ増產獎勵ノ意味カラ言ヒマシテ、所謂原野ニ等シイ所ノ山林或ハ原野、斯ウ云フモノヲ農家ニ、自給肥料ノ増產ノ意味カラ申シマシテ、農地調整法ノ如ク、カツキリトハ行カヌト思ヒマスガ、全力ヲ擧ゲテ原野ヲ自作農者ニ分配致サシメル、斯様ナ御方針ガアリマセウカ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平川政府委員 左様ナ場合ニ付キマシテハ、從來カラ農家ニ、村或ハ部落ヲシテ利用セシムルト云フ手段ヲ講ジテ居リマス、却テ分配致シマスヨリハ、其ノ方ガ長ク地元ノ農村ヲ益スルト云フコトガアルオウニ考ヘテ居リマス、此ノ利用ト云フ面ハ益々強化シテ參リタイト思ヒマス

○伊藤(實)委員 其ノ利用ト云フコトニ付キマシテハ、ドノ部門ヲ通シテ左様ナ斡旋或ハ獎勵ヲナサル御考ヘデアリマスガ

○平川政府委員 國有林ニ付キマシテハ營林局ノ方デ之ヲ致シマス

○伊藤(實)委員 私ハ只今國有林ノミノコトニ付テ御尋ネ致シタノデアリマセヌ、一般私有林ニ付テモ、農地調整法ニ依ツテ自作農創設ニ相成ツタト同ジヤウナ考ヘ方ニ依ツテ、私有林ヲモ將來ハ自給肥料ノ増產上左様ナコトガ必要デアル、斯様ニ私ハ思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテ政府御當局ニハ、將來ノ御計畫ガアルノデアリマセウカ、ナイノデアリマセウカ

○平川政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、農地調整法ノ方ノ專門ノ委員ノ方カラ御答ヘ致シマス

○伊藤(實)委員 ソレデハ以上ヲ以テ私ノ質問ヲ打ちリマス

○森委員 大體質問ハ終了致シタ譯デアリマスガ、尙ホ特ニ大臣ヲ指定サレテ保留サレタル分ガアリマスガ、ソレハ明日ソレハ大臣ノ出席ヲ得テ質疑ヲシテ戴キタイト思ヒマス、明日ハ午前十時カラ開會致シタイト思ヒマス、本日はニテ散會致シマス

午後二時二分散會

昭和二十一年十一月十八日印刷

昭和二十一年十一月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局